

## 〈 乳児一般健康診査の部 〉

乳児一般健康診査は、母子保健法第13条において市町村は健康診査を行い、又は健康診査を受けることを勧奨しなければならないとされている。

乳児一般健康診査は、乳幼児の健康診査及び保健指導要領によると、発育栄養状態、精神、運動機能の発達、疾病又は異常の早期発見と予防に留意すること。さらに保護者が心配事、不安、訴え等をよく話せるように心掛ける。又、養育態度、乳児の睡眠の乱れ、摂食の問題、なだめにくい啼泣、恐れ、不安等の精神的に不安定な状態、児童虐待、家庭環境等にも配慮しながら健康診査を行うとされている。

市町村においては、2回以上の健康診査、乳児前期・乳児後期を実施するとともに、受診勧奨に努めるものである。





# I 一般健診の部

## 1 実施状況

沖縄県内40市町村において、平成31年4月1日から令和2年3月31日までに、乳児一般健康診査が310回(1日160、半日150)実施された。実施体制は、町村が土曜日(午後)の半日で年に4～8回の実施、市は主に日曜日に対象を乳児前期と後期に分け、月に1～3回の実施となっている。離島町村の健康診査は、乳幼児健診として少なくとも年2回の実施があり、健診日の設定により受診月齢が1か月～2か月や12か月以降になることもある。

本報告で示す対象者数とは、市町村から健診該当児への通知数のことである。乳児は、乳児期に2回(前期、後期)の受診機会が提供される。市町村により未受診児対策に再通知等を行ない受診勧奨を行っているところもある。

令和元年度乳児健康診査の対象者は(前期、後期)合計28,454人となり、うち25,922人が受診している。報告書で扱う受診者数は、総受診者数から対象外児(適齢外等)249人を除く対象児25,673人とし、受診率は90.2%となる。

乳児一般健康診査実施状況

市町村数	実施回数		対象者数 (通知)	再通知 (別計)	総受診者数	対象児		受診率 %
	1日	半日				対象児	対象外児	
40	160	150	28,454	3,535	25,922	25,673	249	90.2

※対象外児とは、受診月齢12か月以上及び県外からの里帰り児をいう。その内訳は次のページに掲載

## 2 受診状況

乳児一般健康診査受診状況 (回数・月齢別)

単位：人

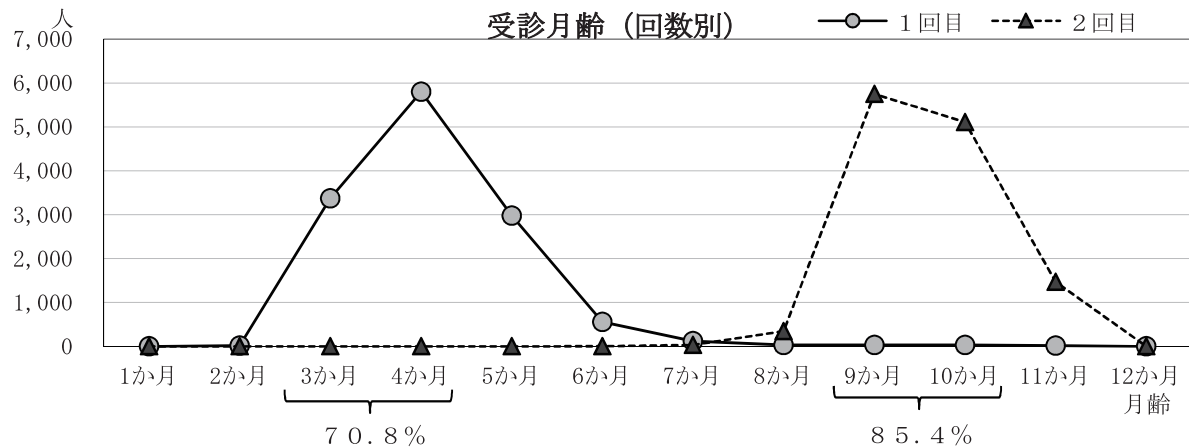
月齢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
1 回目	男	-	7	1,760	3,010	1,522	297	63	19	14	15	15	6,722
	女	-	10	1,615	2,790	1,453	260	60	12	18	19	5	6,242
	小計	-	17	3,375	5,800	2,975	557	123	31	32	34	20	12,964
2 回目	男	-	-	-	-	-	1	18	174	2,955	2,624	752	6,524
	女	-	-	-	-	-	-	13	174	2,794	2,485	719	6,185
	小計	-	-	-	-	-	1	31	348	5,749	5,109	1,471	12,709
計	男	-	7	1,760	3,010	1,522	298	81	193	2,969	2,639	767	13,246
	女	-	10	1,615	2,790	1,453	260	73	186	2,812	2,504	724	12,427
	計	-	17	3,375	5,800	2,975	558	154	379	5,781	5,143	1,491	25,673
受診数に対する割合		-	0.1	13.1	22.6	11.6	2.2	0.6	1.5	22.5	20.0	5.8	% 100.0
前期							後期						
12,725							12,948						

(参照) 統計資料 No. 1～2

乳児一般健康診査の望ましい受診月齢は、1回目が3～4か月（前期）、2回目が9～10か月（後期）とされている。受診状況を見ると、1回目3～4か月の受診は9,175人で70.8%（H30年度67.8%）、2回目9～10か月の受診は、10,858人で85.4%（H30年度85.2%）となっており、ほぼ適正な月齢に実施されている。

実施回数の少ない離島や対象者の少ない町村では、実施月齢にばらつきがみられる。

総受診児を性別にみると、男13,246人、女12,427人である。



(参考)

令和元年度の乳幼児健康診査実施は、令和2年3月頃から新型コロナウイルス感染症が流行し、その感染拡大防止のために健康診査が延期や中止になったことで、健診対象児に受診の機会を提供できなかった。そのことが、受診者数の減少要因にもなった。

ちなみに、40市町村の令和元年（H31.1.1～R1.12.31）概算出生数14,575人（男7,489人、女7,086人）の単純対象数で算出すると、1回目が88.9%で、2回目が87.2%となる。

乳児一般健康診査受診率（回数別）

	対象者数 (概算出生数)	受診者数	受診率 (%)
1回目	14,575	12,964	88.9
2回目	14,575	12,709	87.2
計	29,150	25,673	88.1

注) 乳児期は、公費による受診機会が1人2回提供される。

対象外児(適齢外等)内訳

国頭村(8)	大宜味村(1)	今帰仁村(2)	本部町(9)	名護市(8)	伊江村(2)	恩納村(3)
宜野座村(10)	金武町(23)	うるま市(3)	沖縄市(35)	読谷村(19)	嘉手納町(8)	北谷町(9)
北中城村(4)	宜野湾市(14)	那覇市(10)	西原町(1)	浦添市(5)	豊見城市(46)	糸満市(7)
与那原町(6)	南風原町(3)	座間味村(5)	粟国村(1)	渡名喜村(1)	宮古島市(1)	多良間村(1)
石垣市(1)	竹富町(2)	与那国町(1)				計 249人

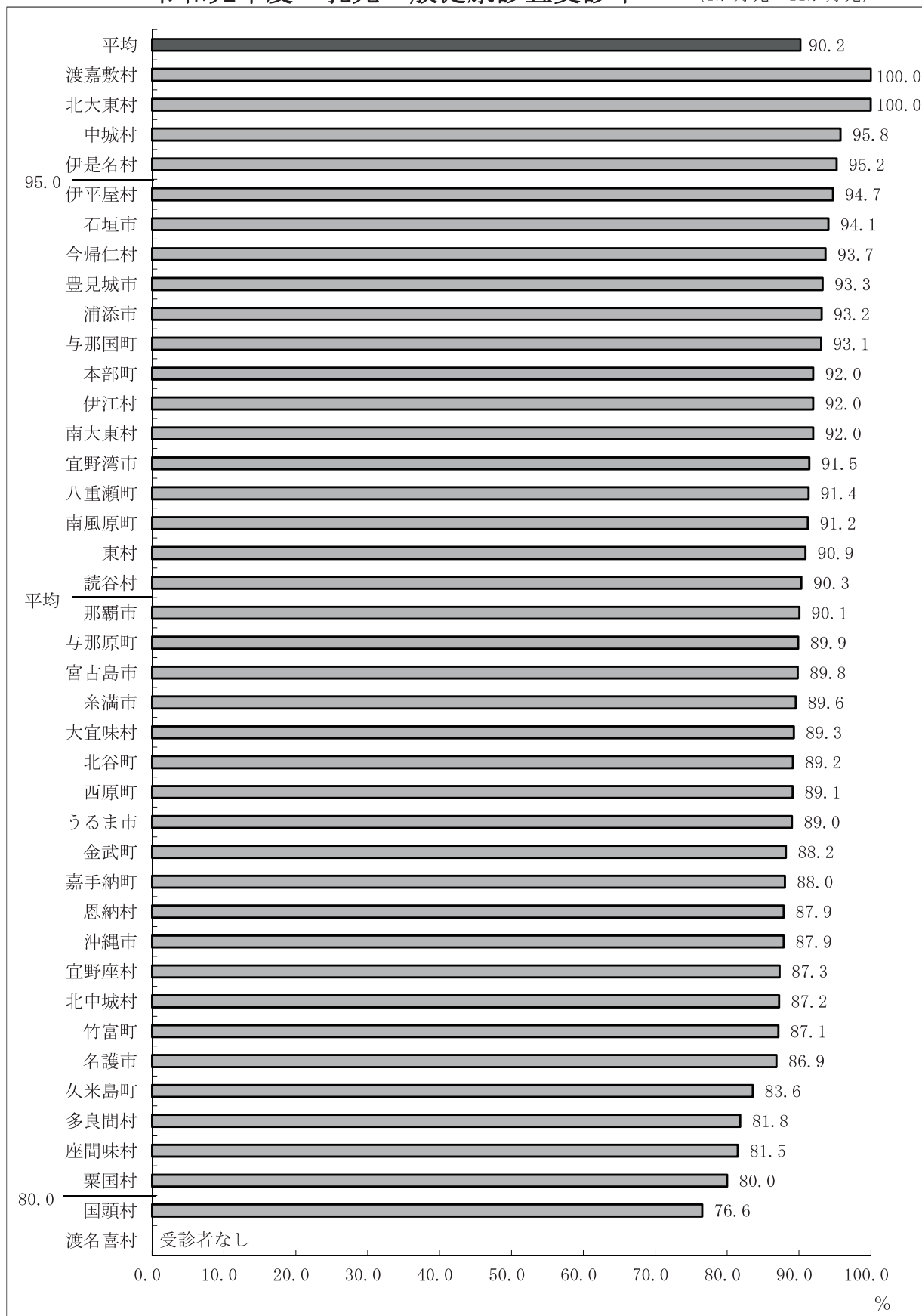
注) 南城市は受託外

(参照) 参考資料 No. 2

注) ( ) は対象外児の人数



令和元年度 乳児一般健康診査受診率 (1か月児～11か月児)



(参照) 統計資料 No. 3 経年比較資料 No. 24

### 3 出生直後の状況

#### 3-1 在胎週数と出生時体重（1回目受診時）

受診1回目で月齢6か月までの児を在胎週数と出生時体重別に分類したものである。

在胎週数	出生時体重						計
	1,000g未満	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g以上	記入なし	
満28週未満	3	1	-	-	-	-	4
28～35週	2	31	117	148	51	-	349
36～39週	-	-	43	795	7,863	7	8,708
満40週以上	-	-	1	56	3,527	2	3,586
記入なし	-	-	-	1	73	3	77
計	5	32	161	1,000	11,514	12	12,724

注) H25年の低出生体重児に関する調査によると、低出生体重児は出生体重が小さい程病院で経過観察されている。

#### 3-2 お産のとき（1回目受診時）

お産時の状況をみると、正常分娩が63.6%で異常分娩が36.4%となっている。異常分娩の内訳では帝王切開が65.2%と高い割合になっている。

	正常分娩	異常分娩	小計	記入なし	計
実人員	8,247	4,714	12,961	3	12,964
%	63.6	36.4	100.0	-	-

単位：件

異常分娩（再掲）	骨盤位	吸引	鉗子	帝王切開	前期破水	臍帯巻絡	出血	早産	子宮内感染	その他	不明
4,714	278	1,153	9	3,072	347	97	159	332	15	99	12
%	5.9	24.5	0.2	65.2	7.4	2.1	3.4	7.0	0.3	2.1	0.3

(参照) 統計資料 No. 19

#### 3-3 生まれたとき（1回目受診時）

	なし	あり	ありの内訳			小計	記入なし	計
			正常	再検査	不明			
実人員	2,098	10,579	10,434	86	59	12,677	287	12,964
%	16.5	83.5	(99.2)	(0.8)	-	100.0	-	-

注) ( ) は検査ありのうち、不明を除いた数を分母に算出した割合。

○H29年度厚生労働省の調査に基づく新生児聴覚検査実施率は81.8%。

(参照) 統計資料 No. 21

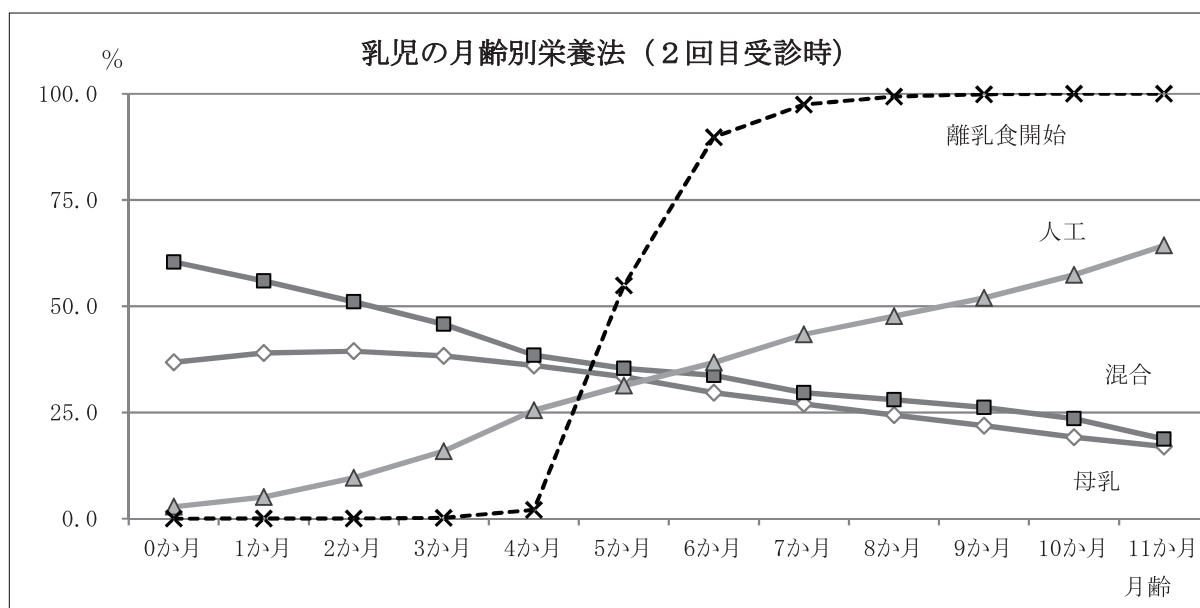
## 4 乳児の栄養法

### 4-1 月齢別栄養法と離乳食の実施状況（2回目受診時）

受診2回目の12,709人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後3か月で混合栄養が45.8%、母乳栄養が38.3%、人工栄養が15.9%となっている。離乳食は、6か月で89.7%が実施している。

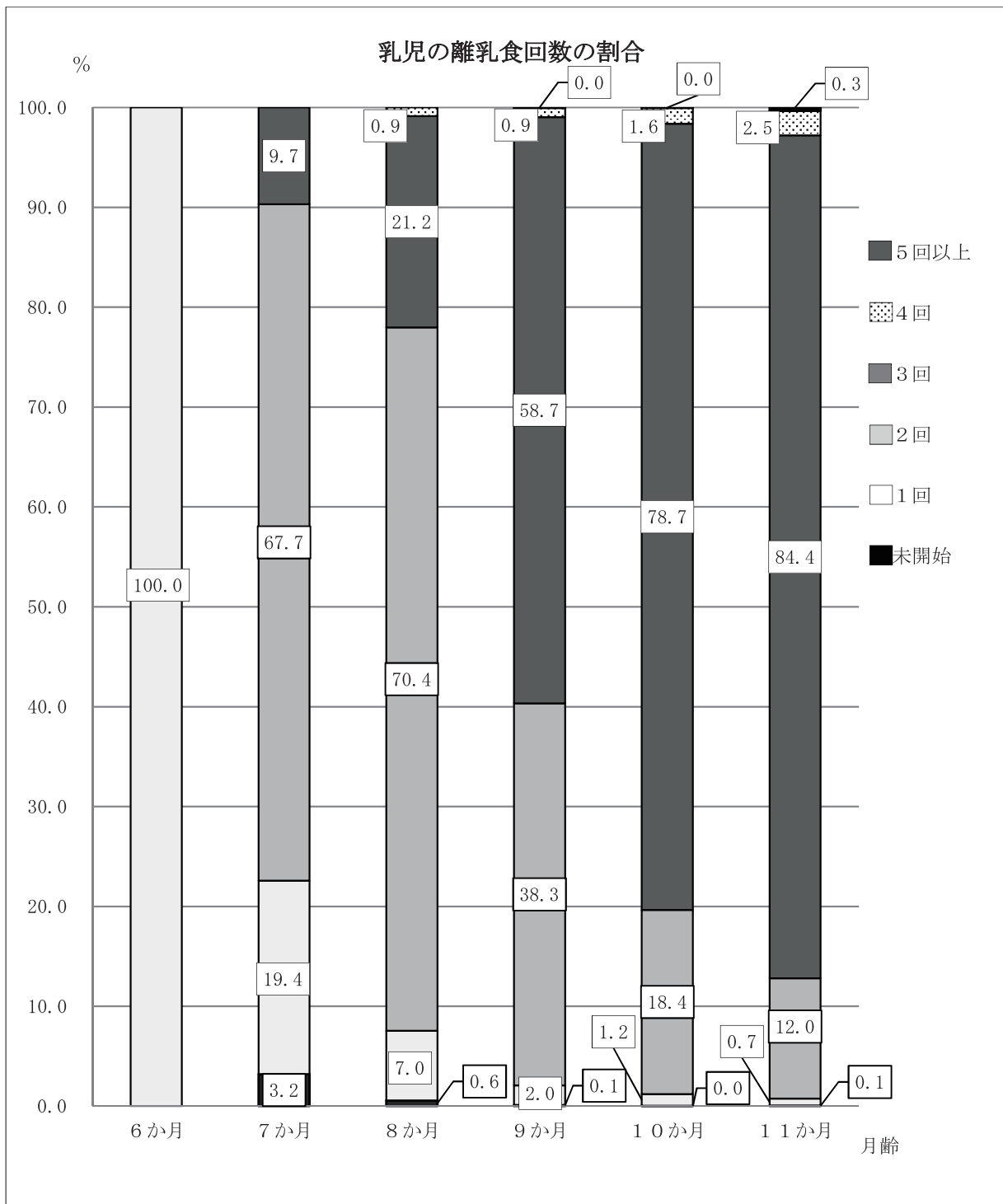
月齢 (時)	集計件数 (件)	母乳 (%)	混合 (%)	人工 (%)	離乳食実施状況 (%)
0か月	12,231	36.8	60.4	2.8	-
1か月	12,246	39.0	55.9	5.1	0.0
2か月	12,290	39.4	51.0	9.6	0.0
3か月	12,313	38.3	45.8	15.9	0.2
4か月	12,284	36.0	38.5	25.5	2.0
5か月	12,284	33.4	35.3	31.3	54.9
6か月	12,280	29.6	33.7	36.7	89.7
7か月	12,262	27.0	29.6	43.4	97.5
8か月	12,217	24.3	28.0	47.7	99.4
9か月	12,007	21.9	26.2	51.9	99.9
10か月	6,430	19.1	23.5	57.3	100.0
11か月	1,453	17.0	18.7	64.3	100.0
割合	-	31.8	39.4	28.8	-

注) 月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。



## 4-2 月齢別離乳食回数（2回目受診時）

離乳食回数について、6か月から11か月児までを対象に集計をした。9か月児は2回食が38.3%、3回食が58.7%となっている。



## 4-3 離乳食の状況（2回目受診時）

## ○離乳食の開始月齢（10か月児）

開始月齢	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	小計	未開始	記入なし
実人員	7	80	2,635	1,826	367	109	29	7	5,060	2	47
%	0.1	1.6	52.1	36.1	7.3	2.2	0.6	0.1	100.0	-	-

## ○離乳食の食べ方（6か月～11か月児）

単位：人

月齢	よく食べる	嫌がる	時間がかかる	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	1	-	-	-	1	-	-
%	100.0	-	-	-	100.0	-	-
7か月	24	-	5	1	30	1	-
%	80.0	-	16.7	3.3	100.0	-	-
8か月	284	22	32	8	346	2	-
%	82.1	6.4	9.2	2.3	100.0	-	-
9か月	4,817	328	525	72	5,742	7	-
%	83.9	5.7	9.1	1.3	100.0	-	-
10か月	4,395	225	433	54	5,107	2	-
%	86.1	4.4	8.5	1.1	100.0	-	-
11か月	1,308	49	104	9	1,470	1	-
%	89.0	3.3	7.1	0.6	100.0	-	-
計	10,829	624	1,099	144	12,696	13	-
%	85.3	4.9	8.7	1.1	100.0	-	-

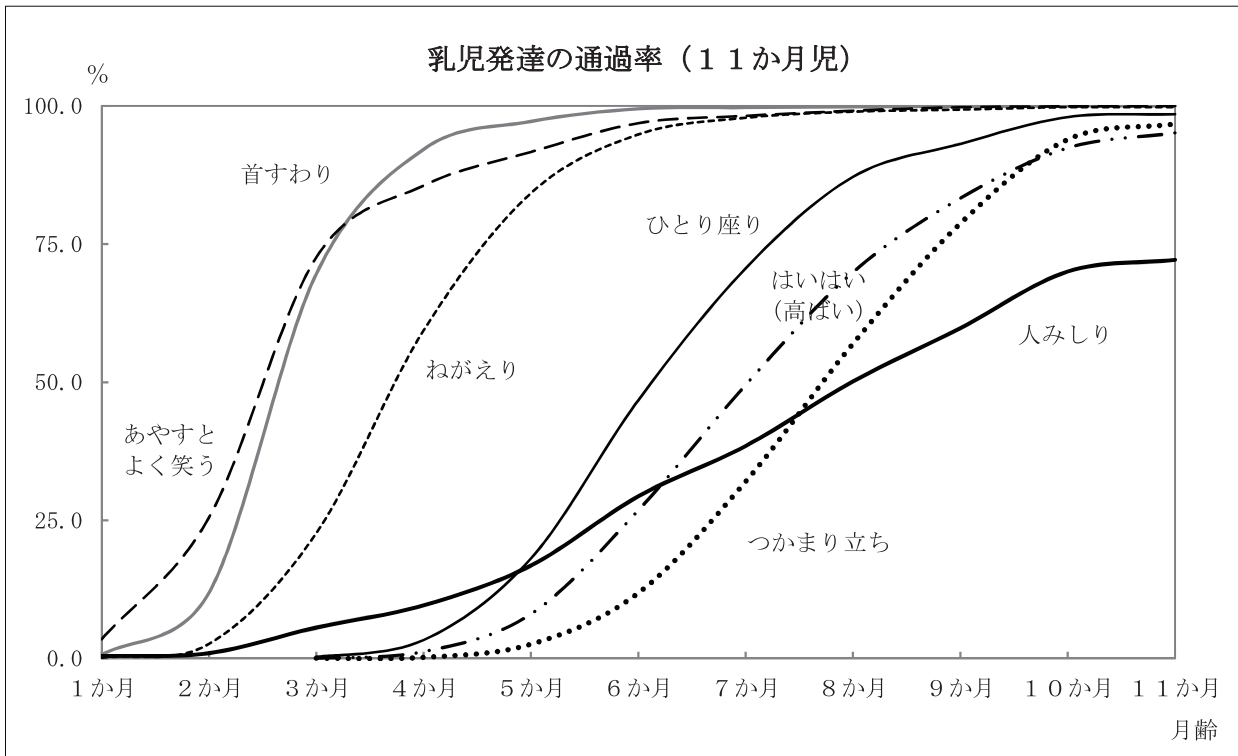
## ○ベビーフードの利用（6か月～11か月児）

単位：人

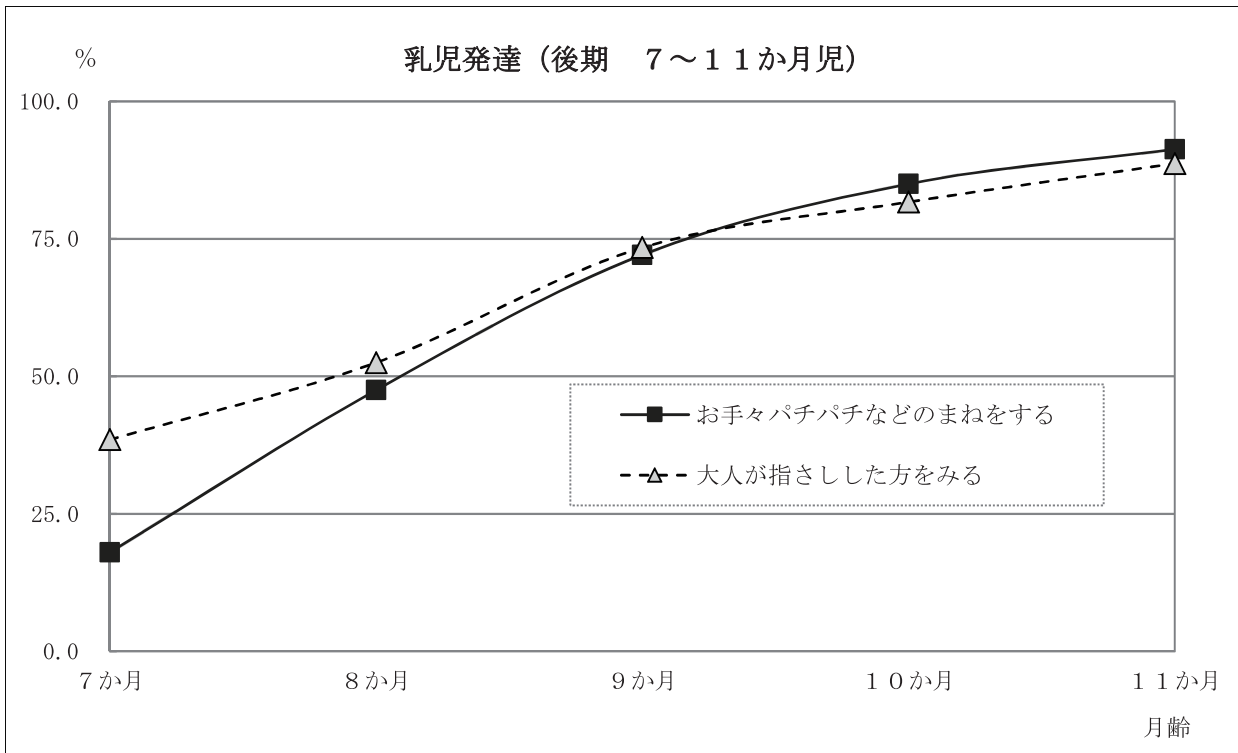
月齢	使わない	時々	よく使う	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	-	-	1	-	1	-	-
%	-	-	100.0	-	100.0	-	-
7か月	8	8	14	-	30	1	-
%	26.7	26.7	46.7	-	100.0	-	-
8か月	120	163	61	2	346	2	-
%	34.7	47.1	17.6	0.6	100.0	-	-
9か月	2,157	2,873	686	26	5,742	7	-
%	37.6	50.0	11.9	0.5	100.0	-	-
10か月	1,975	2,608	506	18	5,107	2	-
%	38.7	51.1	9.9	0.4	100.0	-	-
11か月	556	728	183	3	1,470	1	-
%	37.8	49.5	12.4	0.2	100.0	-	-
計	4,816	6,380	1,451	49	12,696	13	-
%	37.9	50.3	11.4	0.4	100.0	-	-

## 5 発達

乳児の運動発達の通過について、受診時の月齢が11か月児1,491人を対象に分類した。



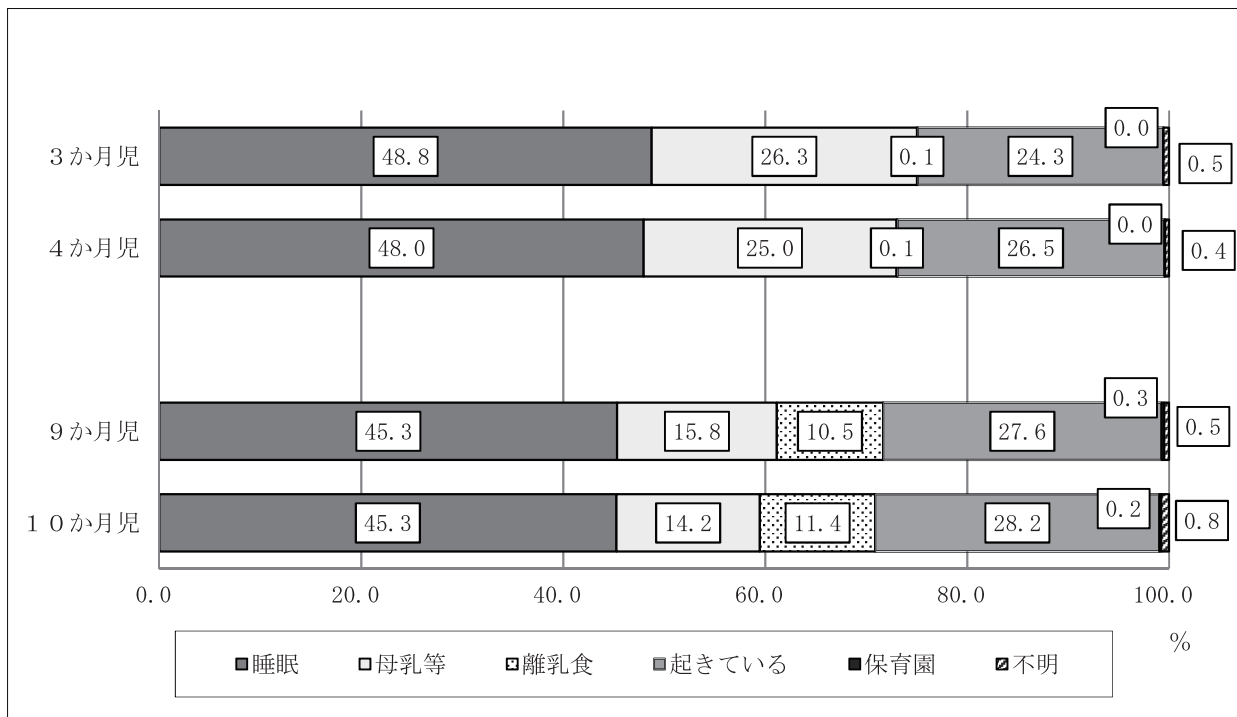
乳児の社会性発達については、受診時の月齢が7～11か月の児12,948人を対象に分類した。



## 6 乳児の生活リズム

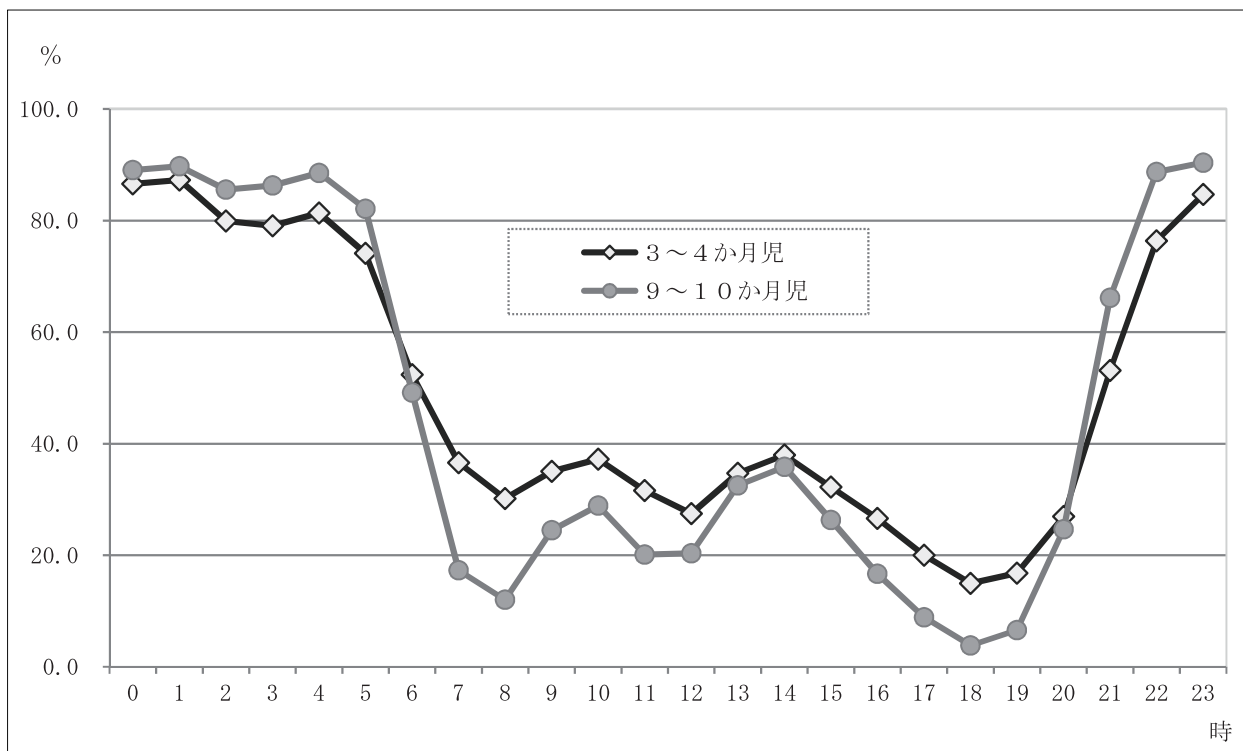
### ○乳児の一日の生活状況（3～4か月児・9～10か月児）

乳児の一日の生活リズムの割合を示したものである。



### ○乳児の一日の睡眠リズム（3～4か月児・9～10か月児）

24時間における、乳児期の睡眠している児の割合を示したものである。



## 7 診察・検査結果

令和元年度の乳児一般健康診査の受診児は25,673人で、医師総合判定の結果、問題なし児が19,429人（75.7%）、要相談等の何らかの判定がある児が6,244人（24.3%）となっている。

診察所見および検査については、診察所見ありの内訳は4,142件、貧血検査結果の異常がある児は2,602件で、延べ6,744件となっている。総合判定結果および診察所見について分類したものを以下に示す。

なお、貧血検査については乳児後期のみを実施している。

### 総合判定(実人員)

単位：人

判定		問題なし	判定結果異常等（実人員）						小計
			要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
受診者数	25,673	19,429	2,428	645	2,062	69	357	683	6,244
%	100.0	75.7	9.5	2.5	8.0	0.3	1.4	2.7	-

### (診察所見及び検査の内訳)

計	(1)診察有所見	(2)貧血検査の異常
6,744	4,142	2,602

(1) 有所見 (件数)	(有所見内訳)					
	発育	皮膚	頭頸部	顔面・ 口腔	眼	耳鼻 咽喉
小計	524	1,519	97	97	64	69
4,142	524	1,519	97	97	64	69

(有所見内訳)						
胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達・ 神経	その他の 異常
196	134	231	47	944	123	97

(2) 貧血検査の異常 (件数)		
	前期	後期
小計	-	2,602
2,602	-	2,602

※貧血は、ヘモグロビン値11.0g/dl未満を集計

(参照) 統計資料 No. 3~6



## 7-1 診察有所見の内訳

### 有所見の内訳

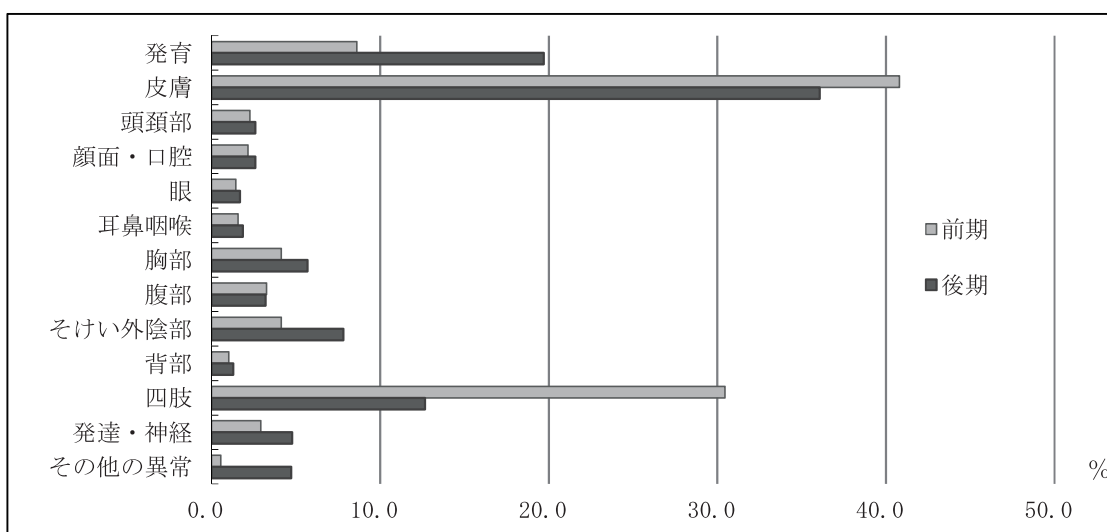
受診者数25,673人、うち診察所見のある児が4,142人(16.1%)となっている。

診察有所見は複数記入がある場合、同部位内はシステム上1件のカウントになっている。部位内のすべての所見を含め延べ件数として示した。

		計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
件数 (実人員)	前期	2,365	197	913	52	51	34	37
	後期	1,777	327	606	45	46	30	32
	計	4,142	524	1,519	97	97	64	69
延べ件数	前期	2,444	204	965	54	51	34	37
	%	-	8.6	40.8	2.3	2.2	1.4	1.6
	後期	1,860	350	641	46	46	30	33
	%	-	19.7	36.1	2.6	2.6	1.7	1.9
	計	4,304	554	1,606	100	97	64	70

	胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達・神経	その他の 異常
前期	98	77	96	24	720	53	13
後期	98	57	135	23	224	70	84
計	196	134	231	47	944	123	97
前期	98	77	98	24	720	69	13
%	4.1	3.3	4.1	1.0	30.4	2.9	0.5
後期	101	57	139	23	225	85	84
%	5.7	3.2	7.8	1.3	12.7	4.8	4.7
計	199	134	237	47	945	154	97

注) 所見項目の割合(%)は、実人員を分母に算出。



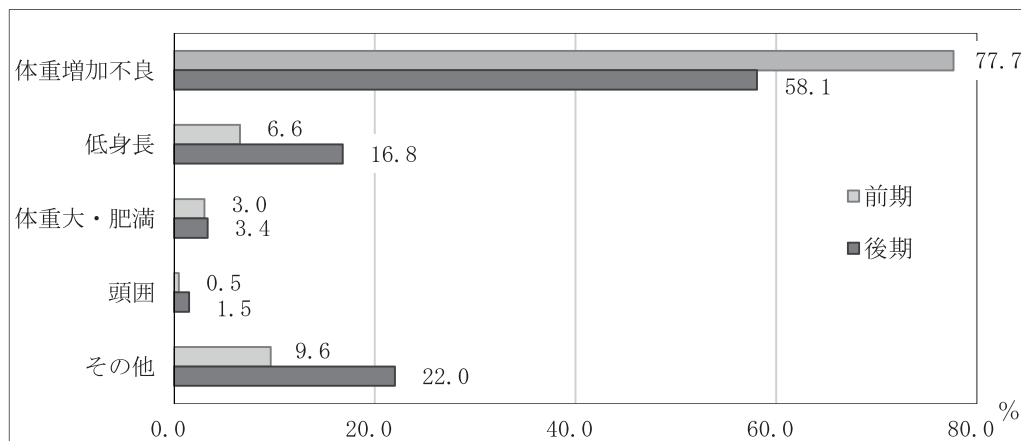
(参照) 統計資料 No. 3~6

## ①<発育>

単位：件

件数 (実人員)		体重増加不良	低身長	体重大・肥満	頭囲	その他	記入なし	延べ件数
前期	197	153	13	6	1	19	12	204
%	37.6	77.7	6.6	3.0	0.5	9.6	6.1	-
後期	327	190	55	11	5	72	17	350
%	62.4	58.1	16.8	3.4	1.5	22.0	5.2	-
計	524	343	68	17	6	91	29	554
%	100.0	65.5	13.0	3.2	1.1	17.4	5.5	-

注) 所見項目の割合(%)は、実人員を分母に算出。

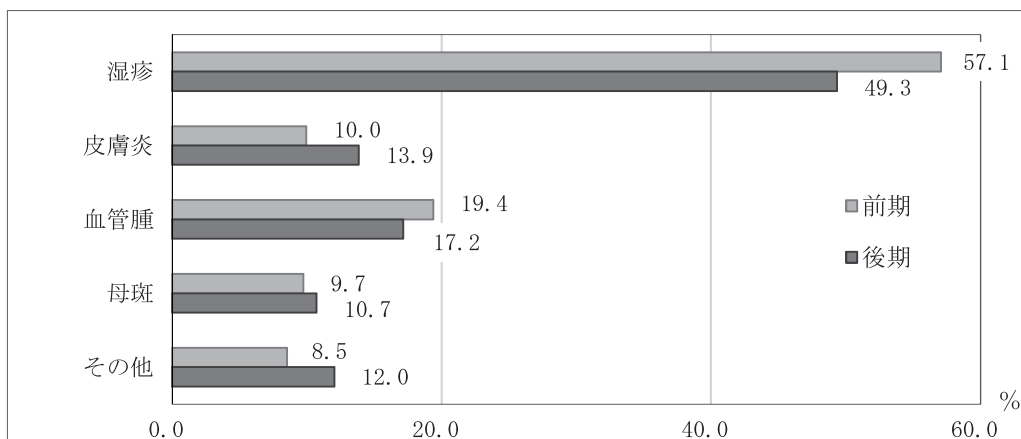


## ②<皮膚>

単位：件

件数 (実人員)		湿疹	皮膚炎	血管腫	母斑	その他	記入なし	延べ件数
前期	913	521	91	177	89	78	9	965
%	60.1	57.1	10.0	19.4	9.7	8.5	1.0	-
後期	606	299	84	104	65	73	16	641
%	39.9	49.3	13.9	17.2	10.7	12.0	2.6	-
計	1,519	820	175	281	154	151	25	1,606
%	100.0	54.0	11.5	18.5	10.1	9.9	1.6	-

注) 所見項目の割合(%)は、実人員を分母に算出。

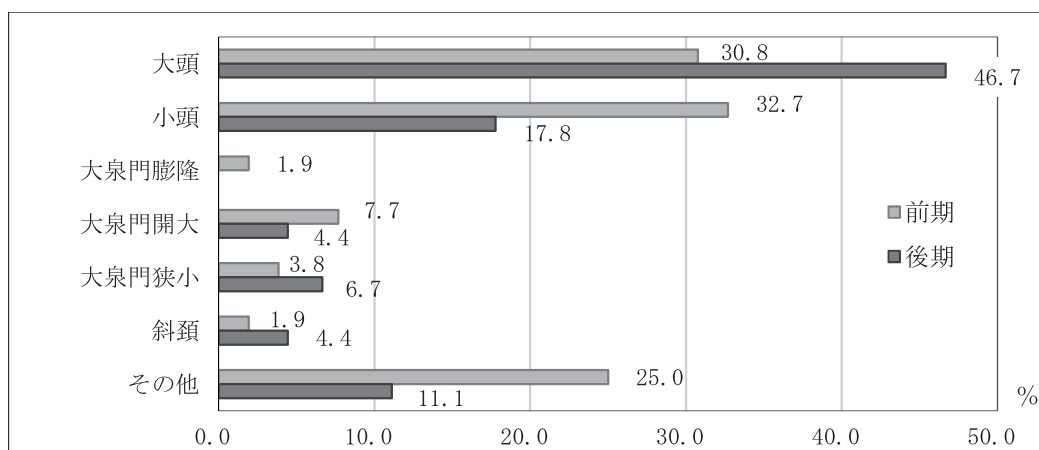


### ③<頭頸部>

単位：件

件数 (実人員)		大頭	小頭	大泉門 膨隆	大泉門 開大	大泉門 狭小	斜頸	その他	記入なし	延べ件数
前期	52	16	17	1	4	2	1	13	-	54
%	53.6	30.8	32.7	1.9	7.7	3.8	1.9	25.0	-	-
後期	45	21	8	-	2	3	2	5	5	46
%	46.4	46.7	17.8	-	4.4	6.7	4.4	11.1	11.1	-
計	97	37	25	1	6	5	3	18	5	100
%	100.0	38.1	25.8	1.0	6.2	5.2	3.1	18.6	5.2	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

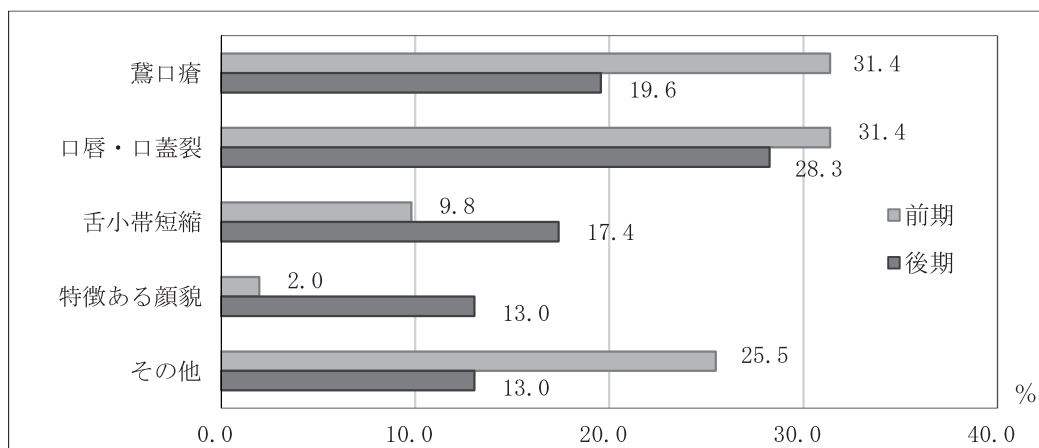


### ④<顔面・口腔>

単位：件

件数 (実人員)		鵞口瘡	口唇・ 口蓋裂	舌小帯 短縮	特徴ある 顔貌	その他	記入なし	延べ件数
前期	51	16	16	5	1	13	-	51
%	52.6	31.4	31.4	9.8	2.0	25.5	-	-
後期	46	9	13	8	6	6	4	46
%	47.4	19.6	28.3	17.4	13.0	13.0	8.7	-
計	97	25	29	13	7	19	4	97
%	100.0	25.8	29.9	13.4	7.2	19.6	4.1	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

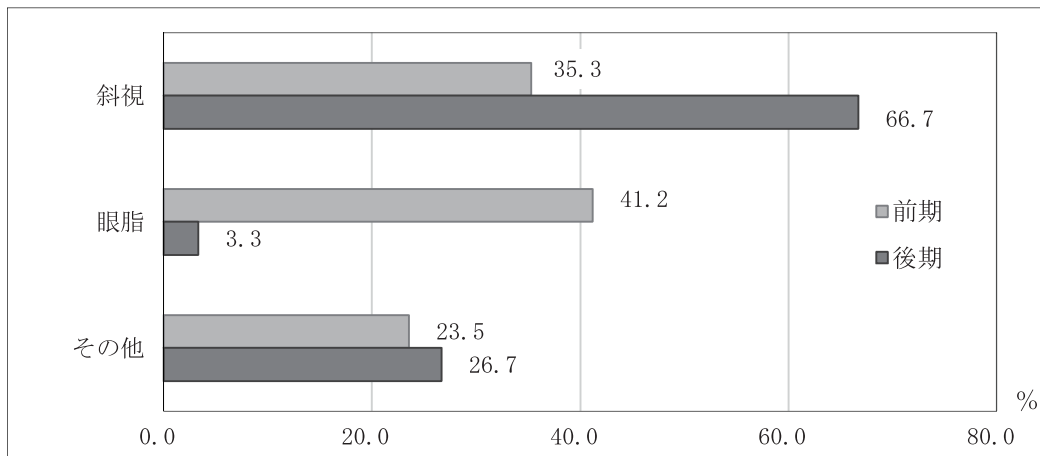


⑤<眼>

単位：件

件数 (実人員)		斜視	眼脂	その他	記入なし	延べ件数
前期	34	12	14	8	-	34
%	53.1	35.3	41.2	23.5	-	-
後期	30	20	1	8	1	30
%	46.9	66.7	3.3	26.7	3.3	-
計	64	32	15	16	1	64
%	100.0	50.0	23.4	25.0	1.6	-

注) 所見項目の割合(%)は、実人員を分母に算出。

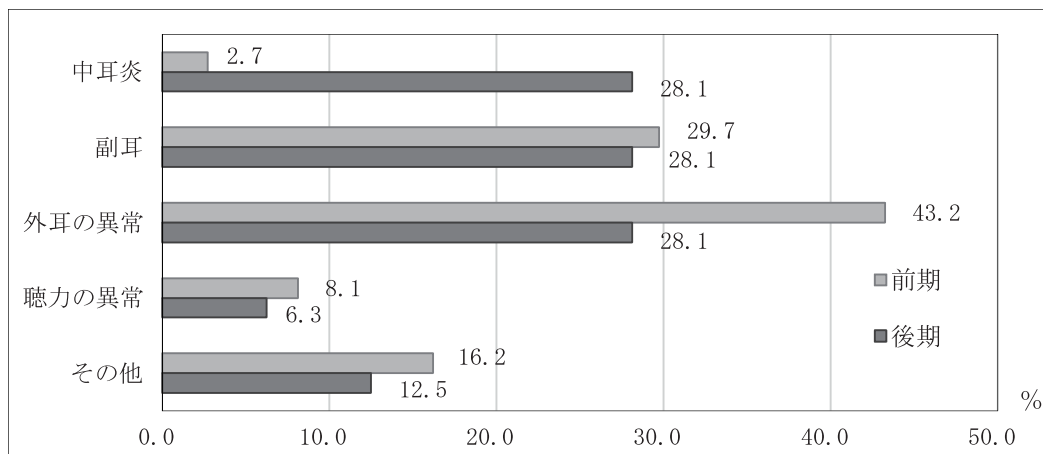


⑥<耳鼻咽喉>

単位：件

件数 (実人員)		中耳炎	副耳	外耳の異常	聴力の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	37	1	11	16	3	6	-	37
%	53.6	2.7	29.7	43.2	8.1	16.2	-	-
後期	32	9	9	9	2	4	-	33
%	46.4	28.1	28.1	28.1	6.3	12.5	-	-
計	69	10	20	25	5	10	-	70
%	100.0	14.5	29.0	36.2	7.2	14.5	-	-

注) 所見項目の割合(%)は、実人員を分母に算出。

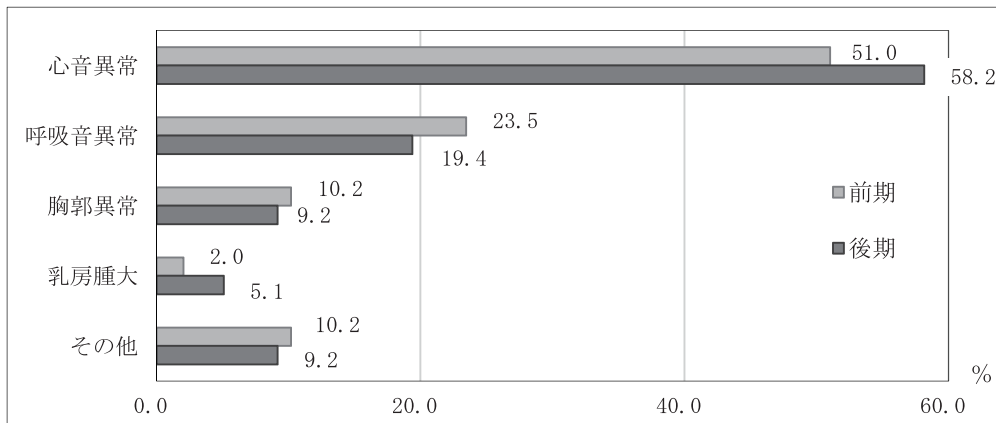


⑦<胸部>

単位：件

件数 (実人員)		心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他	記入なし	延べ件数
前期	98	50	23	10	2	10	3	98
%	50.0	51.0	23.5	10.2	2.0	10.2	3.1	-
後期	98	57	19	9	5	9	2	101
%	50.0	58.2	19.4	9.2	5.1	9.2	2.0	-
計	196	107	42	19	7	19	5	199
%	100.0	54.6	21.4	9.7	3.6	9.7	2.6	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

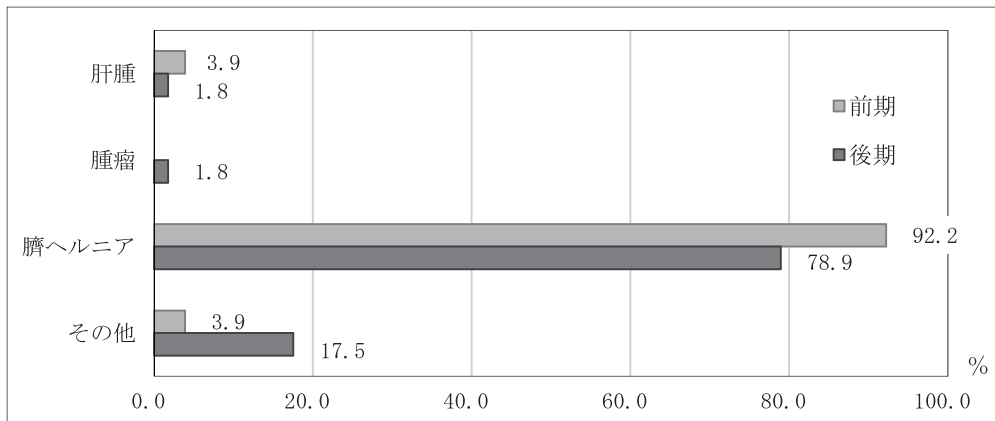


⑧<腹部>

単位：件

件数 (実人員)		肝腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他	延べ件数
前期	77	3	-	71	3	77
%	57.5	3.9	-	92.2	3.9	-
後期	57	1	1	45	10	57
%	42.5	1.8	1.8	78.9	17.5	-
計	134	4	1	116	13	134
%	100.0	3.0	0.7	86.6	9.7	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

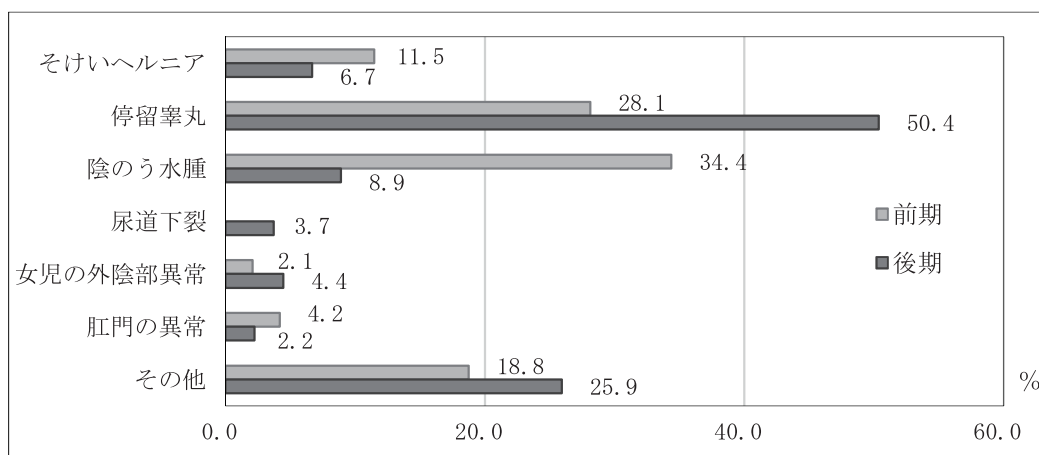


⑨<そけい外陰部>

単位：件

件数 (実人員)		そけいヘルニア	停留辜丸	陰のう水腫	尿道下裂	女児の外陰部異常	肛門の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	96	11	27	33	-	2	4	18	3	98
%	41.6	11.5	28.1	34.4	-	2.1	4.2	18.8	3.1	-
後期	135	9	68	12	5	6	3	35	1	139
%	58.4	6.7	50.4	8.9	3.7	4.4	2.2	25.9	0.7	-
計	231	20	95	45	5	8	7	53	4	237
%	100.0	8.7	41.1	19.5	2.2	3.5	3.0	22.9	1.7	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

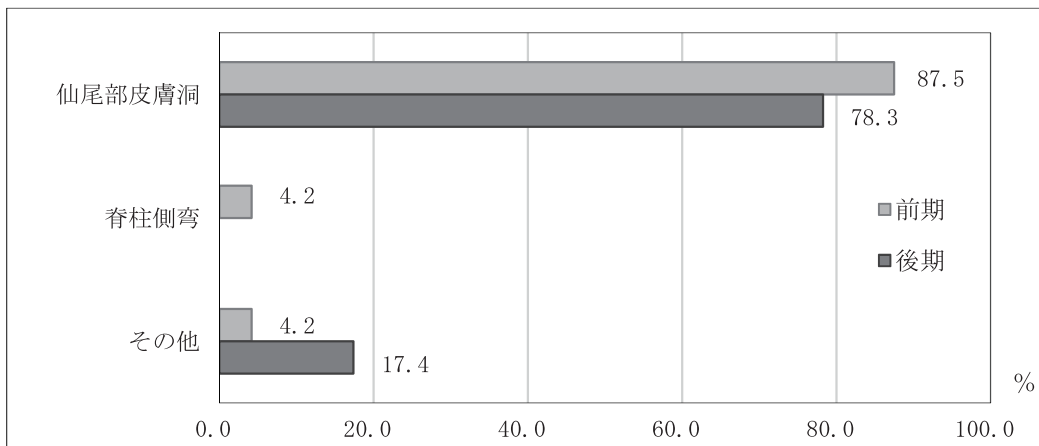


⑩<背部>

単位：件

件数 (実人員)		仙尾部皮膚洞	脊柱側弯	その他	記入なし	延べ件数
前期	24	21	1	1	1	24
%	51.1	87.5	4.2	4.2	4.2	-
後期	23	18	-	4	1	23
%	48.9	78.3	-	17.4	4.3	-
計	47	39	1	5	2	47
%	100.0	83.0	2.1	10.6	4.3	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

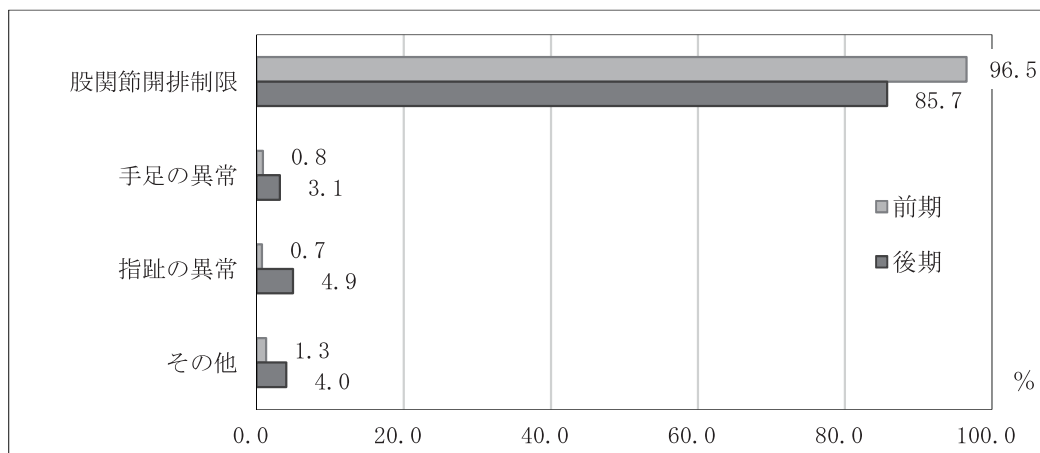


⑪<四肢>

単位：件

件数 (実人員)		股関節開排 制限	手足の異常	指趾の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	720	695	6	5	9	5	720
%	76.3	96.5	0.8	0.7	1.3	0.7	-
後期	224	192	7	11	9	6	225
%	23.7	85.7	3.1	4.9	4.0	2.7	-
計	944	887	13	16	18	11	945
%	100.0	94.0	1.4	1.7	1.9	1.2	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。

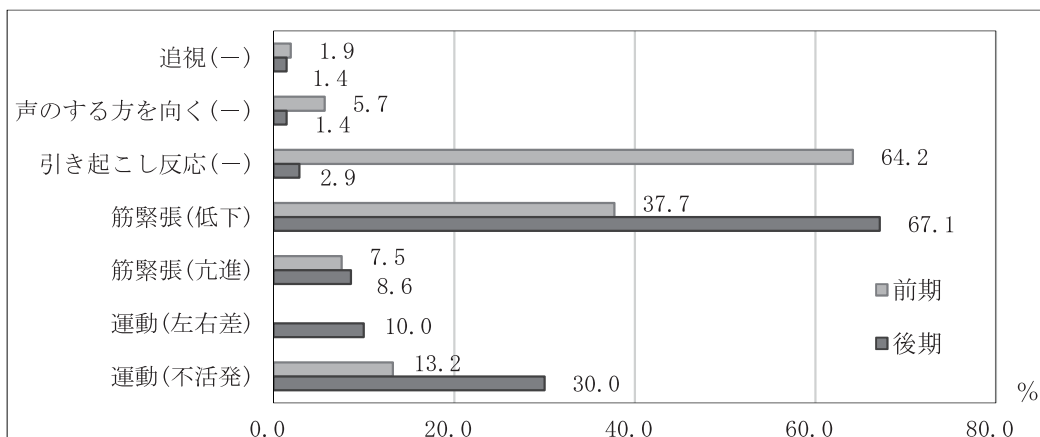


⑫<発達・神経>

単位：件

件数 (実人員)		追視 (-)	声のする方 を向く (-)	引き起こし 反応 (-)	筋緊張 (低下)	筋緊張 (亢進)	運動 (左右差)	運動 (不活発)	延べ件数
前期	53	1	3	34	20	4	-	7	69
%	43.1	1.9	5.7	64.2	37.7	7.5	-	13.2	-
後期	70	1	1	2	47	6	7	21	85
%	56.9	1.4	1.4	2.9	67.1	8.6	10.0	30.0	-
計	123	2	4	36	67	10	7	28	154
%	100.0	1.6	3.3	29.3	54.5	8.1	5.7	22.8	-

注) 所見項目の割合 (%) は、実人員を分母に算出。



## 7-2 検査結果の内訳

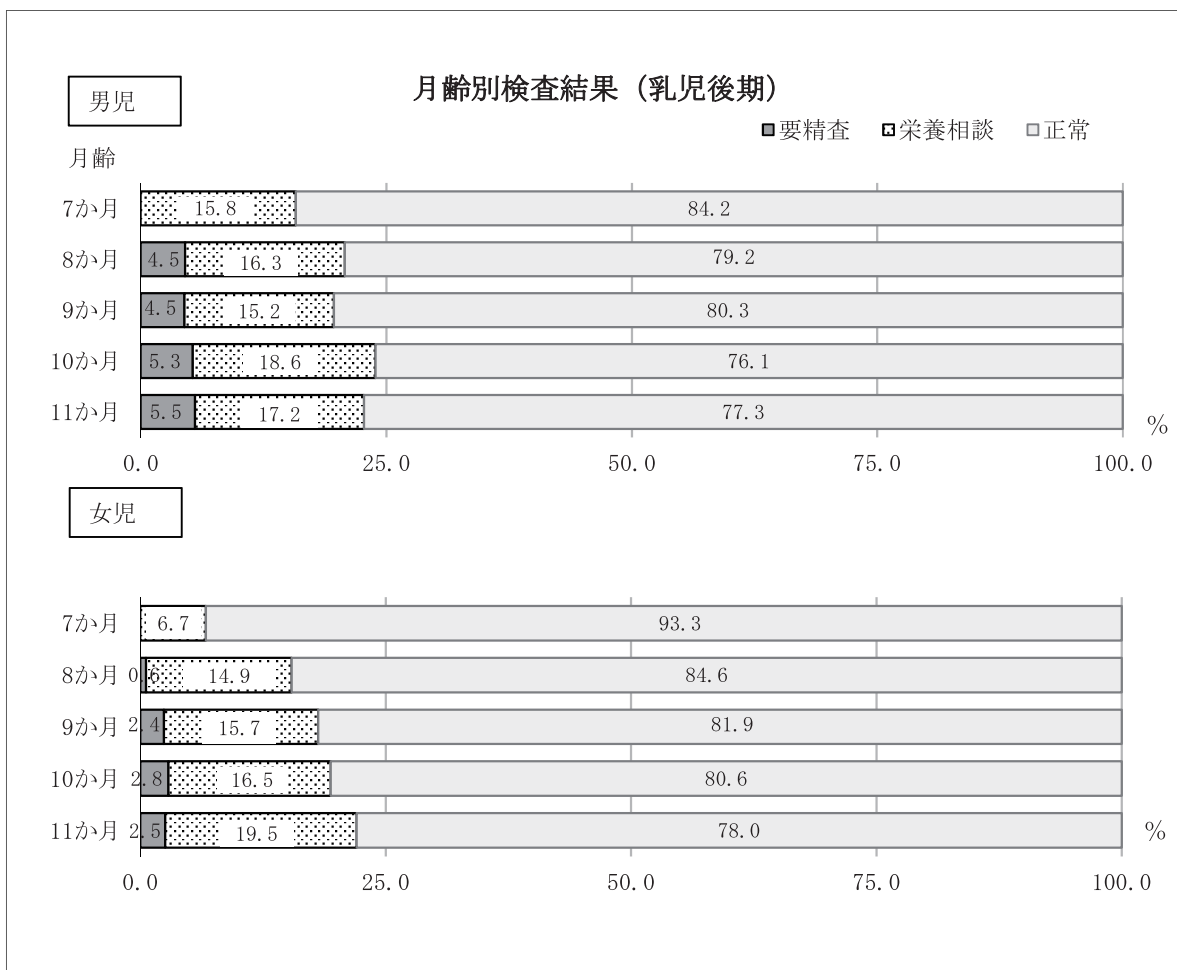
### 貧血検査

貧血検査は乳児後期を対象とし、検査実施の児は12,759人(98.5%)、未検査は189人(1.5%)となっている。検査結果の内訳は、要精査は478人(3.7%)、栄養相談が必要な児は2,124人(16.6%)、正常は10,157人(79.6%)となっている。

単位：人

		検査実施 小計	要精査 9.9g/dl以下	栄養相談 10.0~10.9g/dl	正常 11.0g/dl以上	未検査	計
後 期	男	6,551	321	1,103	5,127	98	6,649
	女	6,208	157	1,021	5,030	91	6,299
	計	12,759	478	2,124	10,157	189	12,948
	%	98.5				1.5	-
			3.7	16.6	79.6		

(参照) 統計資料 No. 7





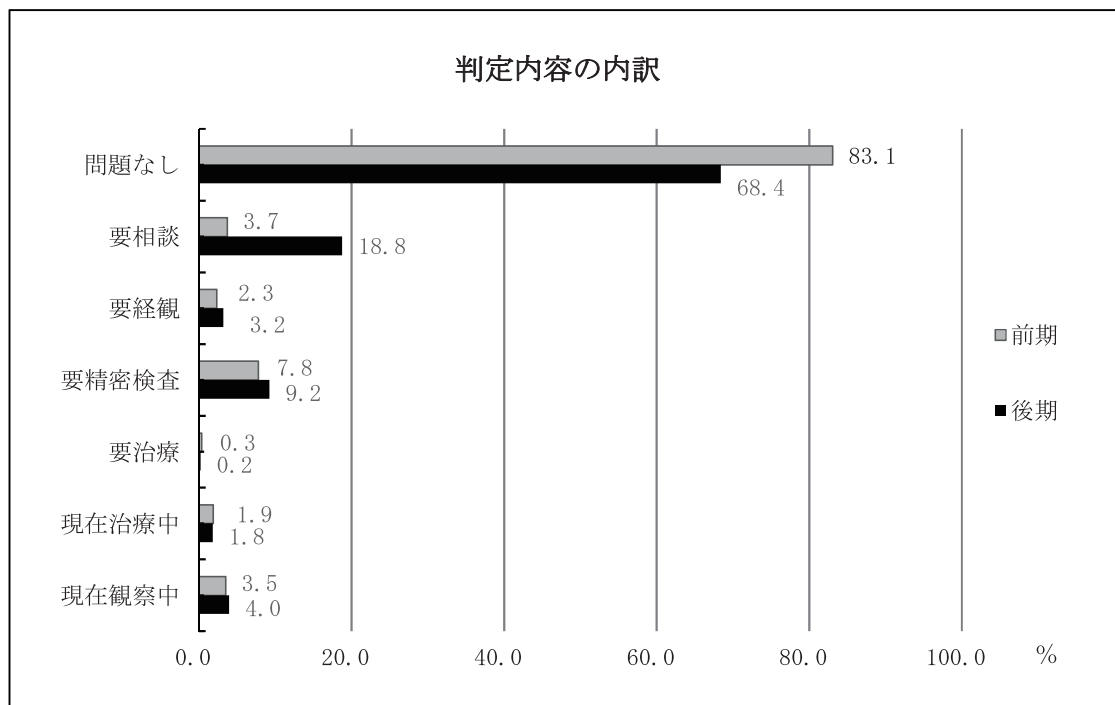
## 8 総合判定

受診者数 25,673 人、うち医師の総合判定の結果は、問題なし児が 19,429 人、判定結果異常等あり児が実人員で 6,244 人となっている。

判定結果の内容には複数もあり、全てを含め集計した延べ件数は 26,755 件となる。その内訳は、問題なし 19,429 件、何らかの判定ありの延べが 7,326 件となっている。

判定		問題なし	判定結果異常等（実人員）						小計	
			要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中		
受診者数	前期	12,725	10,570	361	261	958	43	198	334	2,155
	後期	12,948	8,859	2,067	384	1,104	26	159	349	4,089
	計	25,673	19,429	2,428	645	2,062	69	357	683	6,244
判定内容細分類（複数選択）										
	前期	13,067	10,570	475	298	993	44	239	448	2,497
	%	-	83.1	3.7	2.3	7.8	0.3	1.9	3.5	-
	後期	13,688	8,859	2,434	418	1,197	28	236	516	4,829
	%	-	68.4	18.8	3.2	9.2	0.2	1.8	4.0	-
	延べ件数	26,755	19,429	2,909	716	2,190	72	475	964	7,326
	%	-	75.7	11.3	2.8	8.5	0.3	1.9	3.8	-

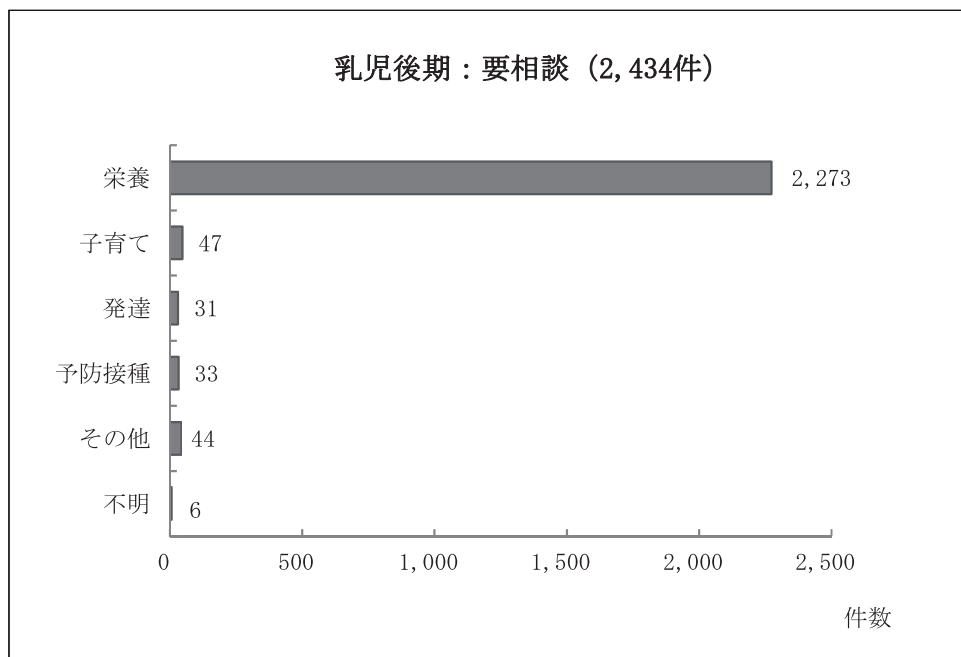
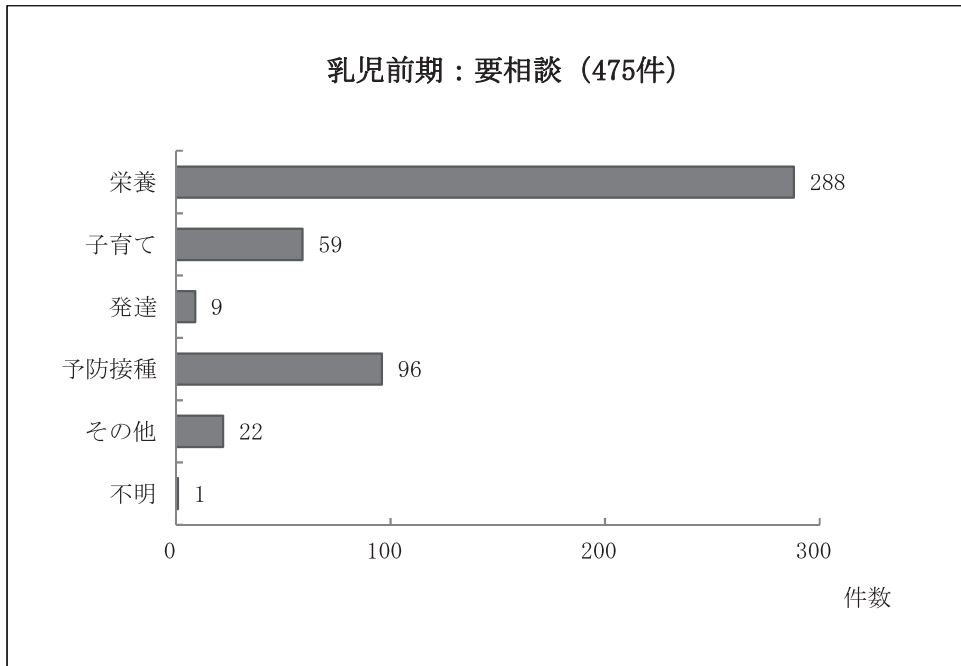
注) 判定内容の割合 (%) は、受診者数を分母に算出。



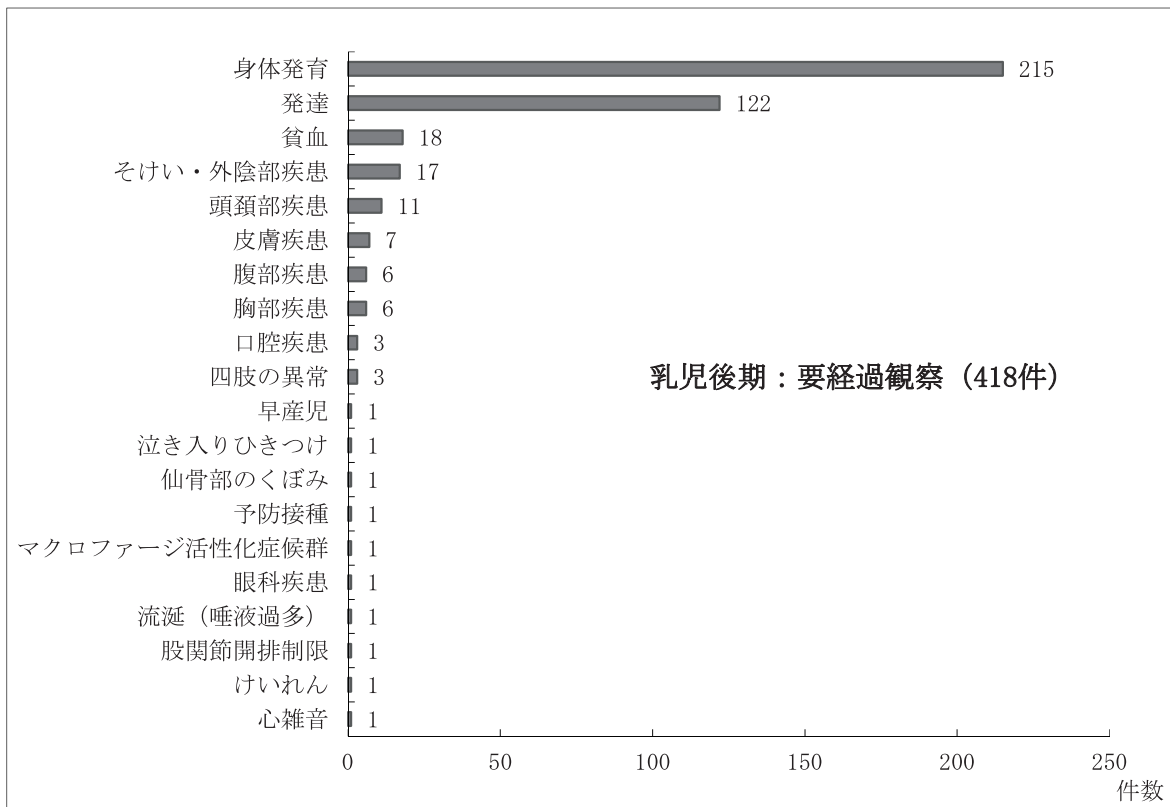
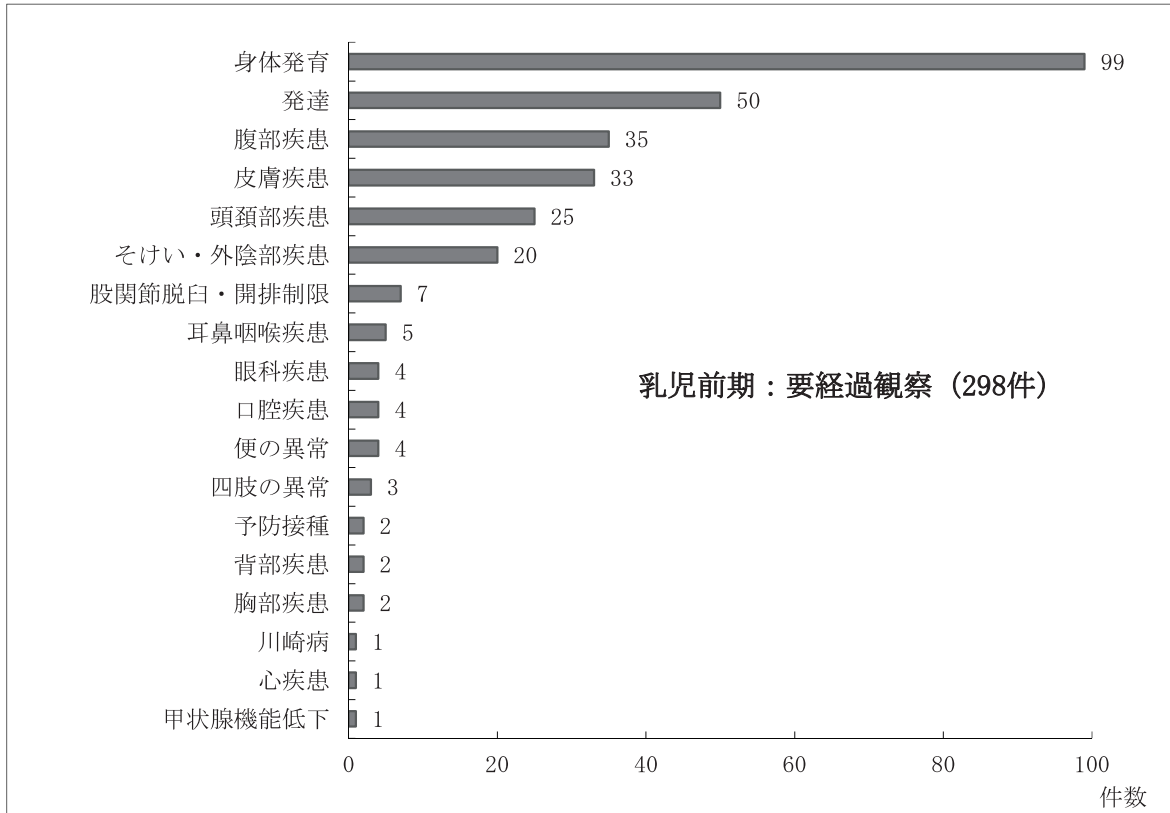
(参照) 統計資料 No. 3~6 経年比較資料 No. 23

## 8-1 要相談について

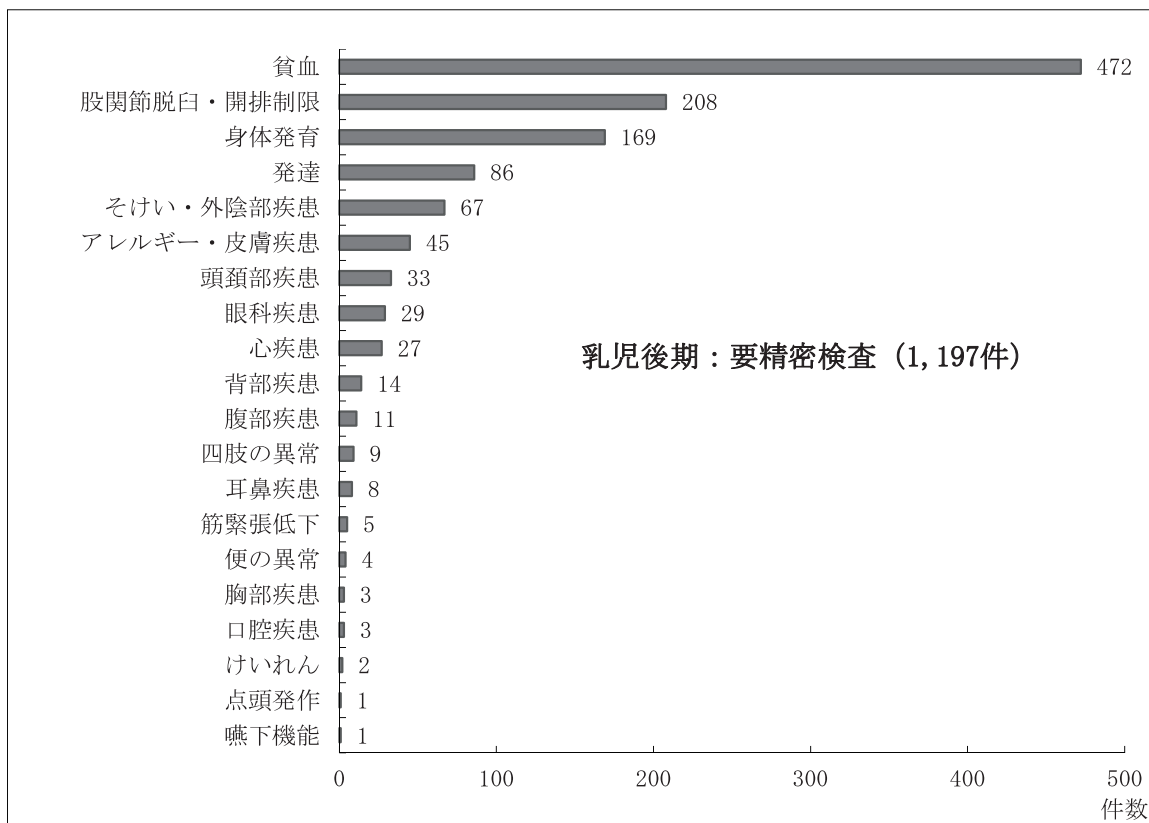
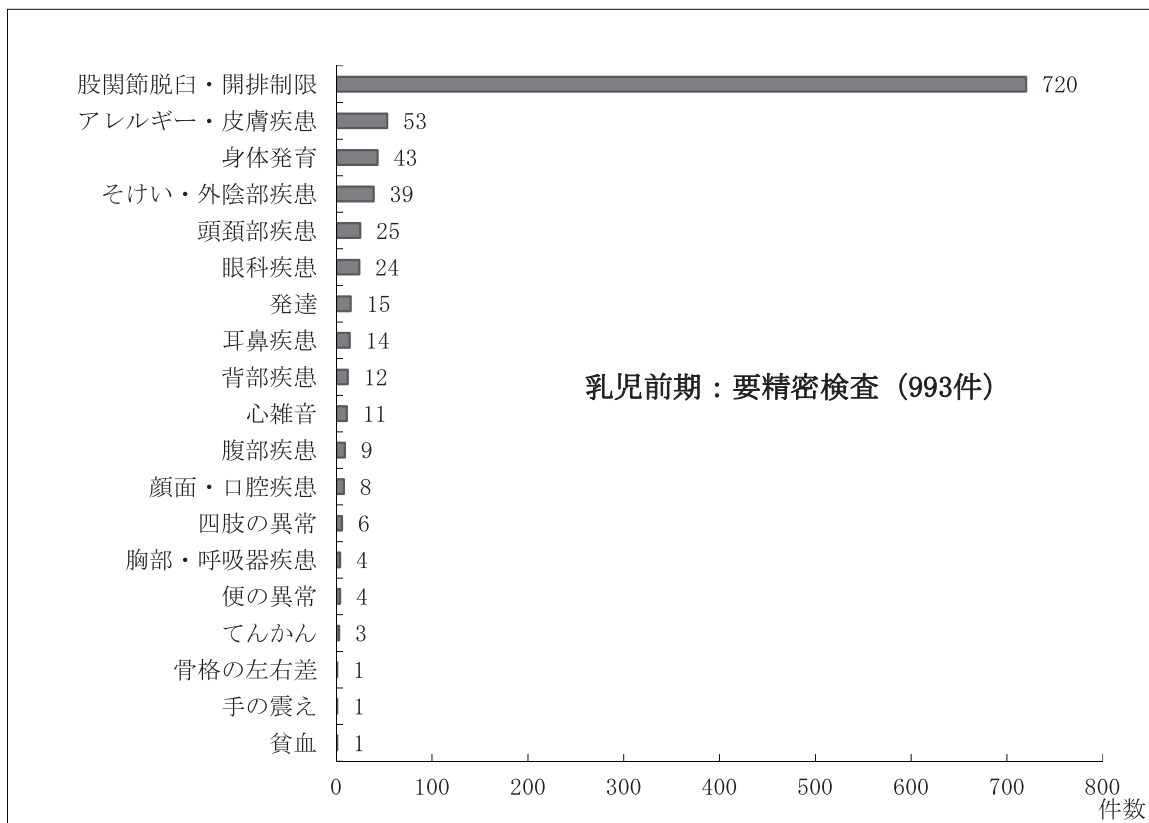
医師の診察結果で相談が必要な場合、専門職へつなぐ内容を示したものである。  
項目においては複数の判定記入があり、それらも含め分類した。



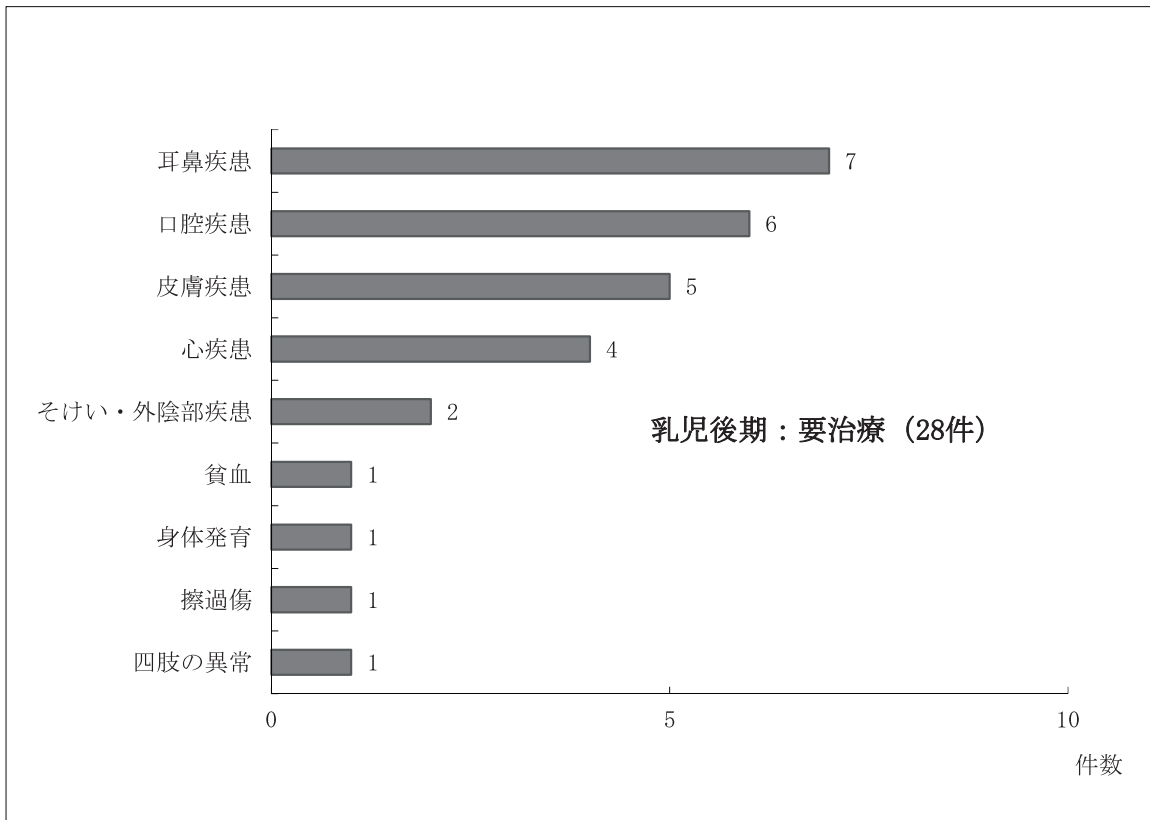
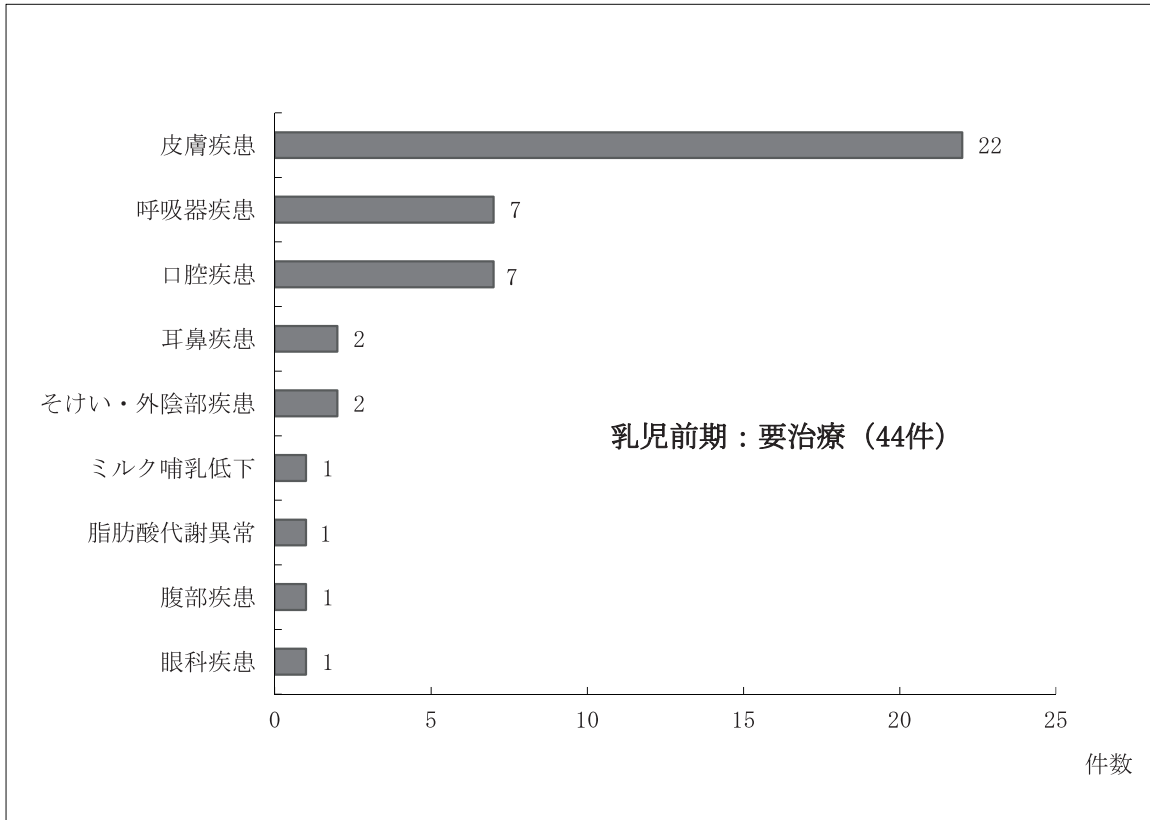
## 8-2 要経過観察について



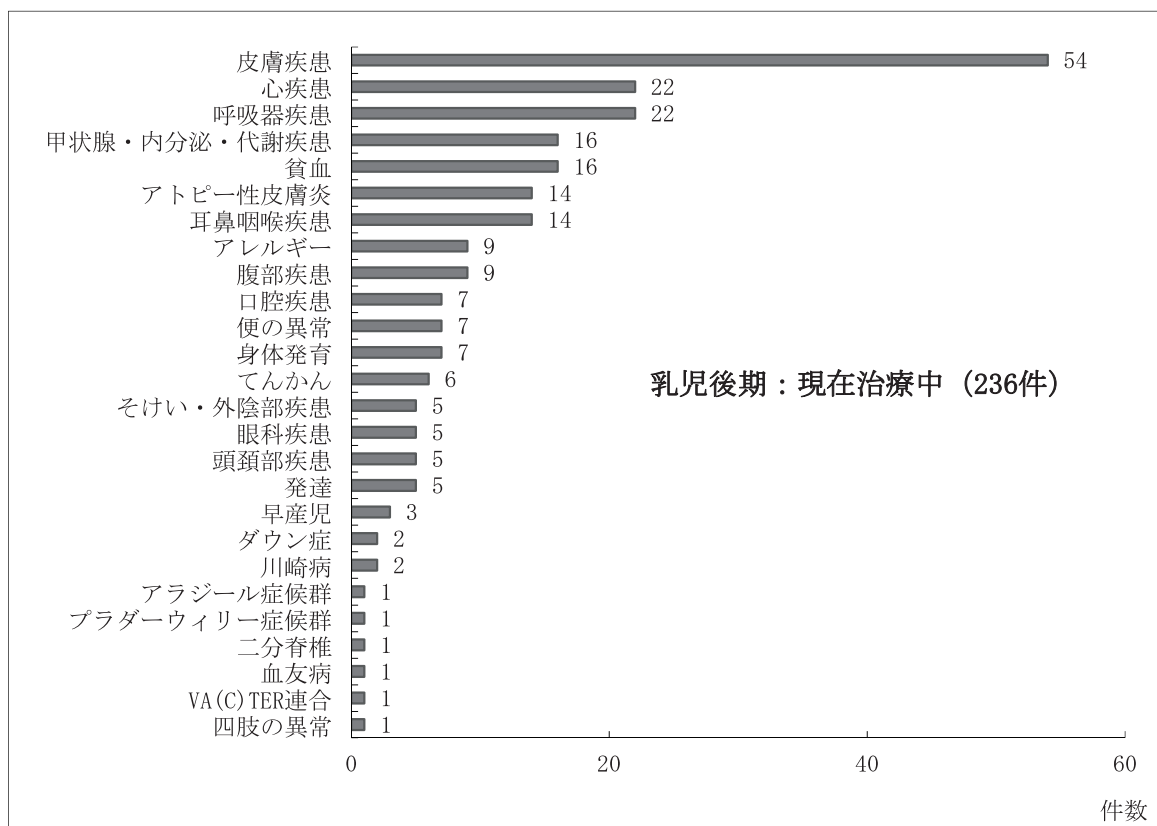
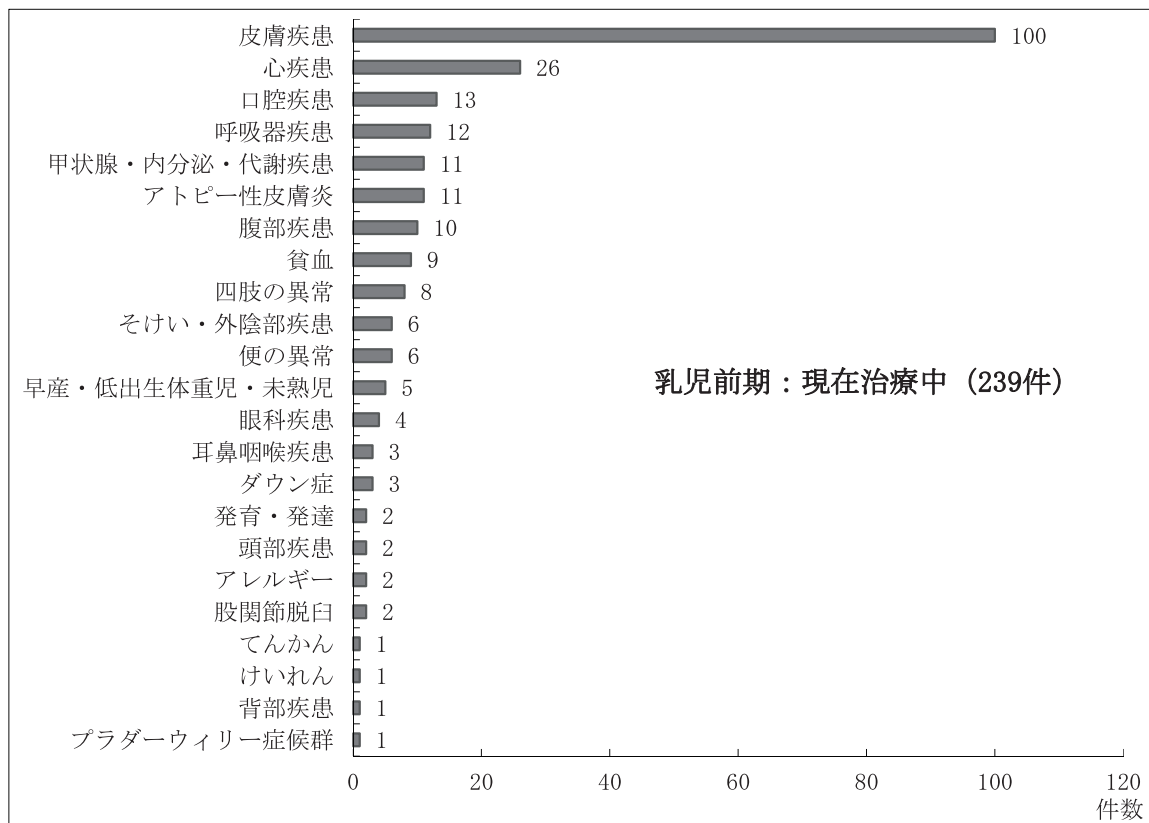
### 8-3 要精密検査について



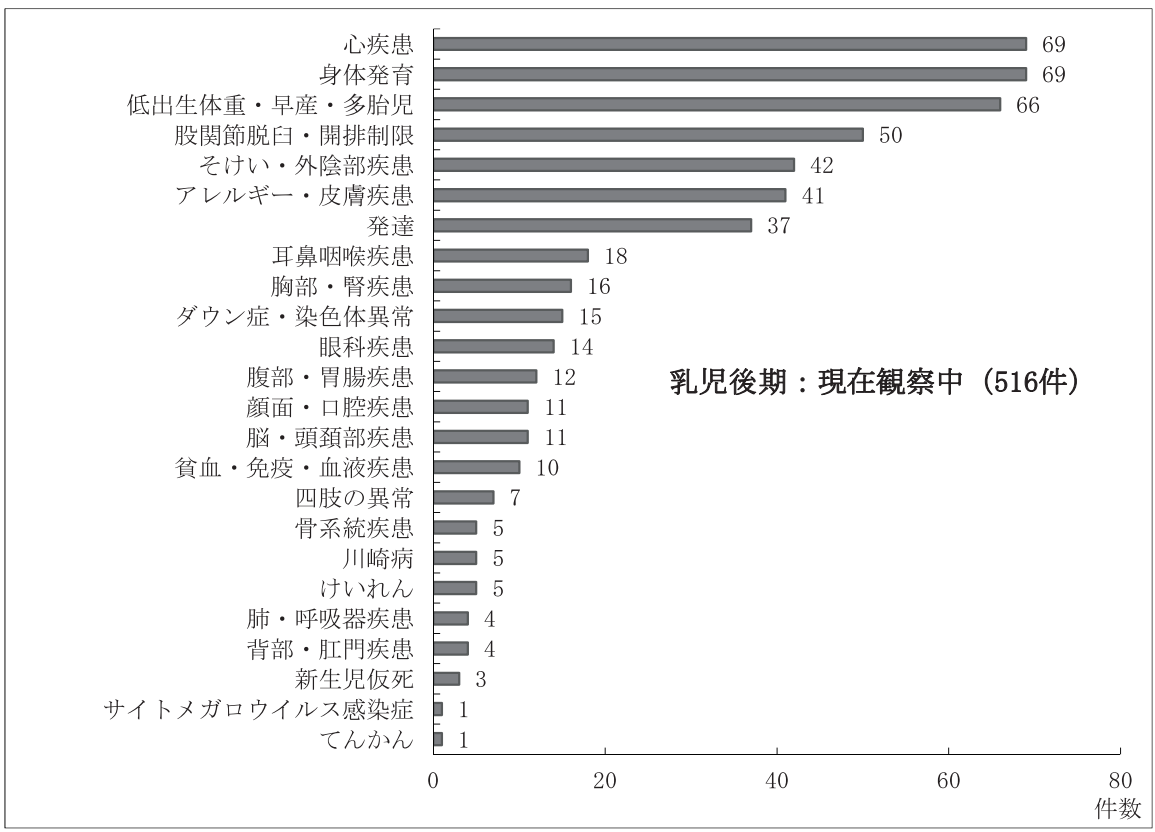
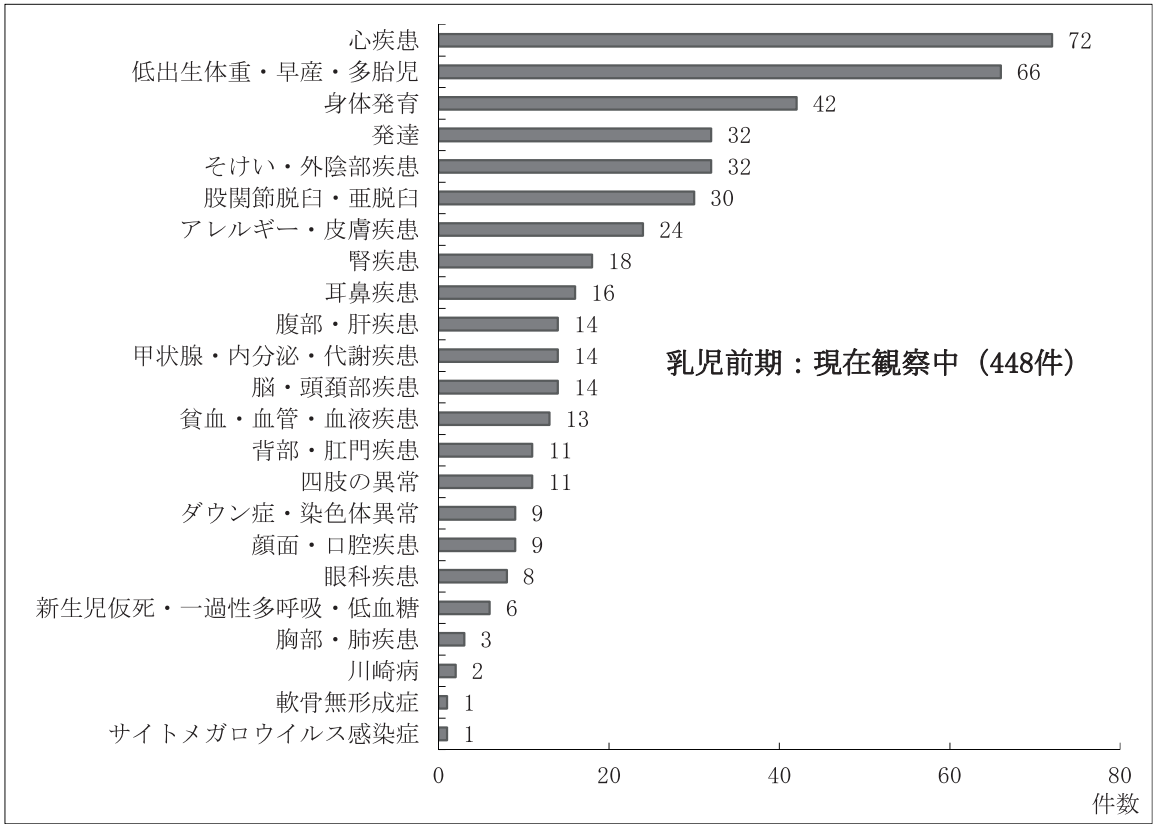
### 8-4 要治療について



## 8-5 現在治療中について



## 8-6 現在観察中について



## 9 問診・保健相談等の対応

### 9-1 保健師による問診からの区分

問診からの区分は、問診担当保健師から各専門職へ、該当児等に関し特に配慮して欲しい内容をメッセージとして届けるためのチェック欄である。以下は、その内容項目を示したものである。

	実人員	配慮する項目の分類							
		延べ件数	栄養	家族状況	予防接種	子育て	発達	生活リズム	主訴
実人員	10,353	11,714	1,593	23	173	689	311	166	8,759
実人員に対する割合	%	-	15.4	0.2	1.7	6.7	3.0	1.6	84.6

(参照) 統計資料 No. 13

### 9-2 保健師による保健相談状況

保健師による保健相談の対応と医師による総合判定状況を示したものである。

保健相談	保健師による		医師の総合判定（実人員）						
	受診者数	%	問題なし	要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
要経観	3,565	13.9	810	429	387	1,726	20	62	131
結果説明	20,638	80.4	17,463	1,872	234	243	46	273	507
記入なし	1,470	5.7	1,156	127	24	93	3	22	45
計	25,673	-	19,429	2,428	645	2,062	69	357	683
%	-	100.0	75.7	9.5	2.5	8.0	0.3	1.4	2.7

(参照) 統計資料 No. 14

### 9-3 保健師による相談内容

保健師の保健相談で要経過観察とした内容を医師の指示と併せて示したものである。

	実人員	要経過観察内訳									
		延べ件数	栄養	子育て	発達	発育	生活習慣	検査	疾病	その他	不明
保健師	3,565	3,893	358	273	350	486	28	1,211	168	157	862
	%	-	10.0	7.7	9.8	13.6	0.8	34.0	4.7	4.4	24.2
医師	645	716	-	-	172	314	-	18	209	3	-
	%	-	-	-	26.7	48.7	-	2.8	32.4	0.5	-

(参照) 統計資料 No. 3~4、15



## 10 栄養相談の対応

### 10-1 栄養士による相談有無と出生順位

栄養士の相談対応有無と児の出生順位について集計したものである。

受診月齢	受診者数	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上		不明	
		相談あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
前期	12,725	4,743	145	3,592	542	2,032	384	711	161	251	84	75	5
%	-	97.0	3.0	86.9	13.1	84.1	15.9	81.5	18.5	74.9	25.1	93.8	6.3
後期	12,948	4,896	201	3,556	581	1,971	404	650	191	259	70	141	28
%	-	96.1	3.9	86.0	14.0	83.0	17.0	77.3	22.7	78.7	21.3	83.4	16.6

注) 栄養相談の有無は、受診票の栄養士名の記載有無で判断した。

(参照) 統計資料 No. 16

### 10-2 栄養士による相談有無と貧血の指導区分

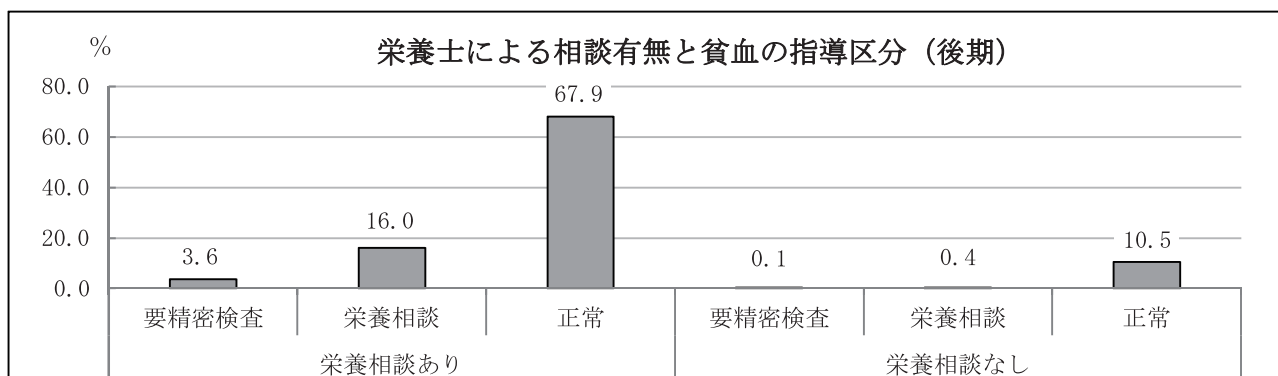
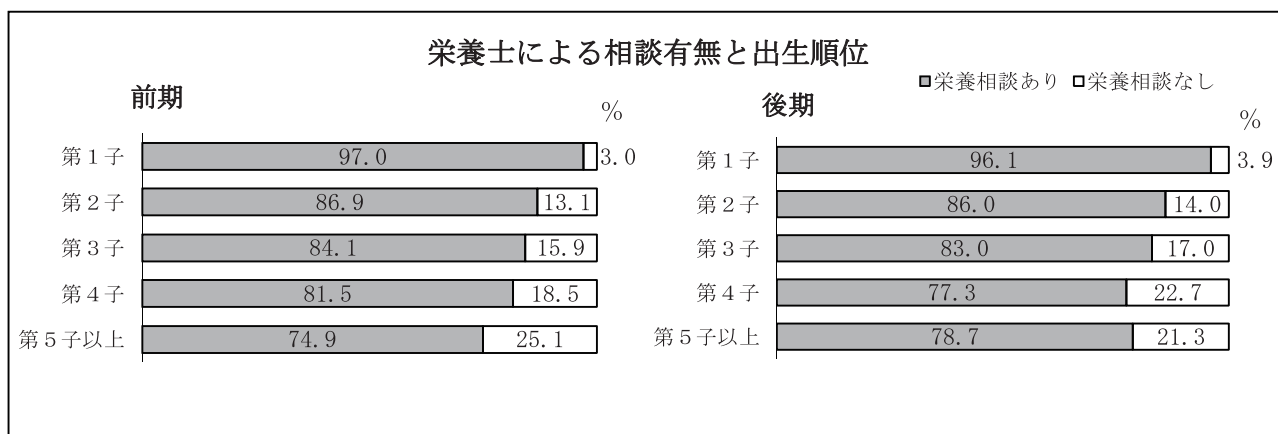
栄養士の相談対応有無と児の貧血の指導区分について集計したものである。

受診月齢	受診者数	栄養相談あり			栄養相談なし			貧血検査 未検査
		要精密検査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0 以上	要精密検査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0 以上	
後期	12,948	460	2,074	8,794	18	50	1,363	189
%	100.0	3.6	16.0	67.9	0.1	0.4	10.5	1.5

注) 栄養相談の有無は、受診票の栄養士名の記載有無で判断した。

注) 平成28年度より貧血検査は後期(7か月~11か月児)のみ実施。

(参照) 統計資料 No. 17

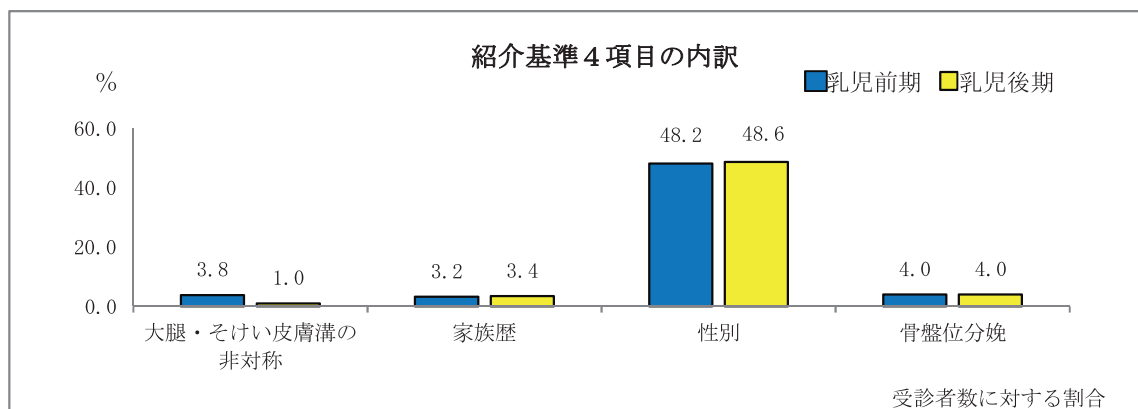
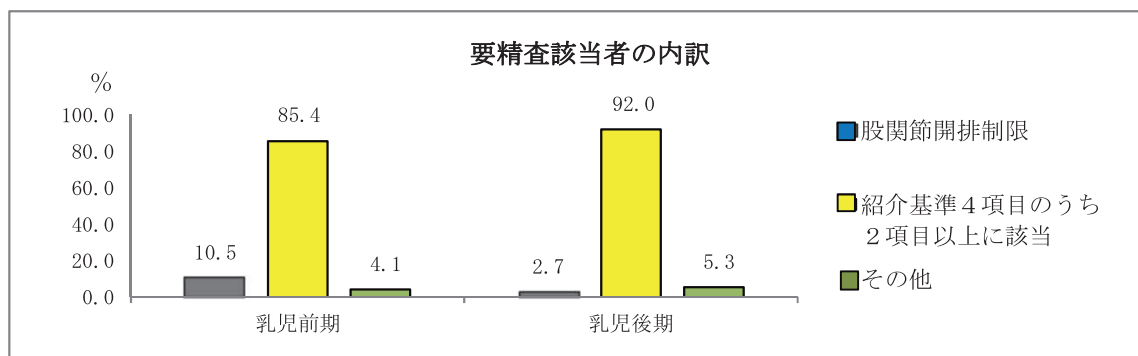


# ワンポイント



## ○乳児の股関節開排制限の紹介基準で分類した要精査該当者内訳

	受診者数	要精査 該当者数	股関節開排制限				紹介基準 4項目の うち2項目 以上に該当	その他
			開排制限	開排制限 及び 2項目以上 に該当	開排制限 及び 1項目に 該当			
前期	12,725	904	95	33	23	39	772	37
	%	100.0	10.5	-	-	-	85.4	4.1
後期	12,948	637	17	3	2	12	586	34
	%	100.0	2.7	-	-	-	92.0	5.3



## ○乳児の股関節開排制限の紹介基準による要精査該当者に対する医師の総合判定

	要精査 該当者数	要精査	要経観	治療中	観察中	問題なし
前期	904	720	7	2	30	145
%	100.0	79.6	0.8	0.2	3.3	16.0
後期	637	208	1	-	50	378
%	100.0	32.7	-	-	7.8	59.3

## ○乳児の股関節開排制限に係る要精査者の内訳（医師の判定）

	要精査 該当者数	要精査 (紹介基準で発行)	基準を満たさないが1項目に該当	その他の 所見
前期	720	690	26	4
%	100.0	95.8	3.6	0.6
後期	208	191	17	-
%	100.0	91.8	8.2	-

(参照) 統計資料 No. 9~10